

ベトナム国
造林計画策定・実施能力強化プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

平成21年12月
(2009年)

独立行政法人 国際協力機構
ベトナム事務所

ベト事

JR

09-059

ベトナム国
造林計画策定・実施能力強化プロジェクト
詳細計画策定調査報告書

平成21年12月
(2009年)

独立行政法人 国際協力機構
ベトナム事務所

序 文

日本国政府は、ベトナム社会主義共和国政府の要請に基づき、農業農村開発省林業局等を実施主体とする技術協力プロジェクト「造林計画策定・実施能力強化プロジェクト」を実施することを決定し、独立行政法人国際協力機構（JICA）がこのプロジェクトを実施することになりました。

当機構は、本格的な協力の開始に先立ち、本件協力を円滑かつ効果的に進めるため、平成21年7月13日から24日まで詳細計画策定調査団（団長：JICAベトナム事務所次長 東城康裕）を派遣し、合意結果を協議議事録に取りまとめました。

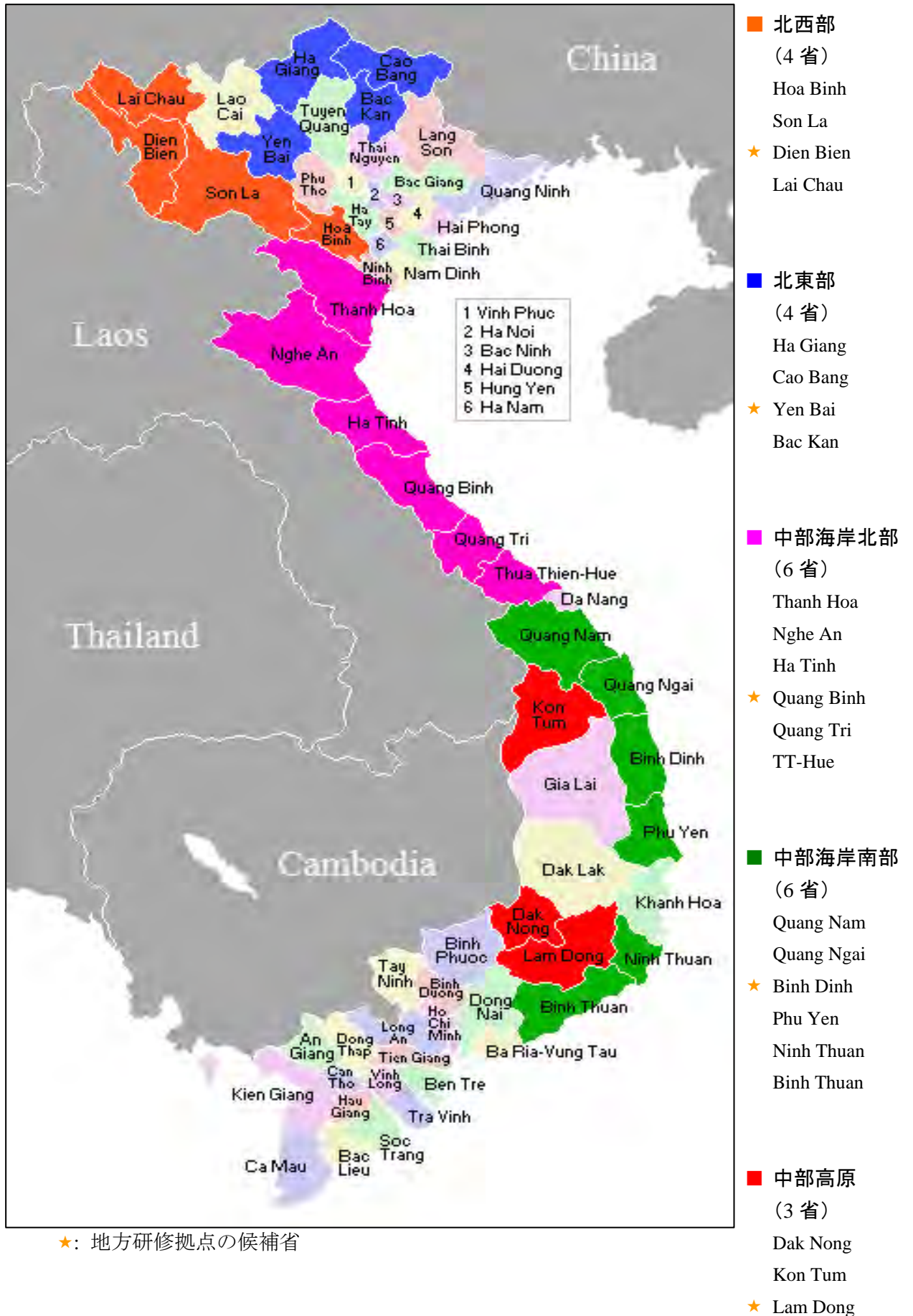
本報告書が本プロジェクトの今後の推進に役立つとともに、この技術協力が両国の友好・親善の一層の発展に寄与することを期待します。

最後に、調査にご協力とご支援を戴いた両国の関係者の皆様に対し、心から感謝の意を表します。

平成 21 年 12月

独立行政法人 国際協力機構
ベトナム事務所長 築野 元則

プロジェクト位置図



略語一覧

| 略語 | 英語名 | 日本語名 |
|----------|--|----------------------------|
| ADB | Asia Development Bank | アジア開発銀行 |
| DARD | Department of Agriculture and Rural Development | 農業農村開発局 |
| F/S | Feasibility Study | 実現可能性調査 |
| FICAB | Development Study on Capacity Building for Preparing Feasibility Studies and Implementation Plans for Afforestation Projects in Viet Nam | 造林計画策定能力開発調査 |
| FSSP | Forest Sector Support Partnership | 森林セクター支援パートナーシップ |
| GTZ | Gesellschaft für Technische Zusammenarbeit | ドイツ技術協力公社 |
| I/P | Implementation Plan | 実施計画 |
| JCC | Joint Coordinating Committee | 合同調整委員会 |
| JICA | Japan International Cooperation Agency | 独立行政法人 国際協力機構 |
| MARD | Ministry of Agriculture and Rural Development | 農業農村開発省 |
| MARD-DOF | Ministry of Agriculture and Rural Development - Department of Forestry | 農業農村開発省林業局 |
| M/M | Minutes of Meetings | 協議議事録 |
| OJT | On-the-Job Training | 実習型トレーニング |
| PDM | Project Design Matrix | プロジェクト・デザイン・マトリクス |
| PO | Plan of Operations | プラン ・オブ・オペレーション（活動工程表） |
| PMU | Project Management Unit | プロジェクト運営本部 |
| PPC | Provincial People's Committee | 省人民委員会 |
| PST | Provincial Study Team | 地方省研修チーム |
| R/D | Record of Discussions | 討議議事録 |
| REDD | Reducing Emission from Deforestation and Degradation | 森林減少・劣化の抑制等による温室効果ガス排出量の削減 |
| Sub-DOF | Sub Department of Forestry | 林業支局（省レベル） |
| WB | World Bank | 世界銀行 |

目 次

序文

プロジェクト位置図

略語表

| | | |
|------|--------------------------------|----|
| 第1章 | 調査の概要及び要請内容..... | 1 |
| 1.1 | 調査団派遣の経緯と目的..... | 1 |
| 1.2 | 調査団の構成..... | 2 |
| 1.3 | 調査期間..... | 2 |
| 1.4 | 要請の背景及び内容..... | 3 |
| 第2章 | プロジェクト実施の背景..... | 5 |
| 2.1 | 開発課題の概況等..... | 5 |
| 2.2 | 我が国の援助政策、事業実施計画との位置付け..... | 5 |
| 2.3 | 他ドナー等関連事業..... | 5 |
| 第3章 | プロジェクトの基本計画..... | 6 |
| 3.1 | 目標と活動計画..... | 6 |
| 3.2 | 研修実施方法..... | 8 |
| 3.3 | プロジェクト対象地方省..... | 9 |
| 3.4 | プロジェクト実施体制..... | 9 |
| 3.5 | 他の JICA 協力との相乗効果..... | 9 |
| 第4章 | プロジェクト実施の妥当性..... | 11 |
| 4.1 | 評価5項目による評価結果..... | 11 |
| 4.2 | 貧困・ジェンダー・環境等への配慮..... | 13 |
| 4.3 | 過去の類似案件からの教訓の活用..... | 13 |
| 4.4 | 今後の評価計画..... | 14 |
| 附属資料 | | |
| 資料1 | 詳細計画策定調査 M/M (2009年7月24日)..... | 17 |
| 資料2 | 研修計画(案)..... | 41 |
| 資料3 | 面談メモ..... | 49 |
| 資料4 | R/D 及び M/M (2009年12月7日)..... | 75 |

第1章 調査の概要及び要請内容

1.1 調査団派遣の経緯と目的

ベトナム国では、人口増加、工業化、ベトナム戦争などに起因する数十年にわたる森林破壊により、森林被覆率は1945年の43%から1995年には28%に減少し、環境、経済や人々の生活に様々な悪影響を及ぼしてきた。

森林被覆率の減少に対処し住民の生計を向上させるため、ベトナム国政府は、1998年には「500万ha造林計画」を、2001年には「森林セクター開発戦略(2001-2010)」を策定するなど多くの計画や戦略を整備・実施してきており、森林被覆率は2007年には38%まで回復した。しかしながら、森林の質及び土壌保全や水源涵養の能力の低下、ならびに生物多様性の減少が依然として続いており、2007年時点では363万haもの疲弊した林地が存在している。他方、自家用及び産業用のための林産物需要は、急速な人口の増加や経済開発のために増加し続けている。

また、造林面積の増加にもかかわらず、実際の造林地は生産性が低く、増加する需要に応えるためにも、生物多様性機能の高い天然林の伐採圧力を減少させるためにも、十分な林産物供給を果たしているとはいえず、林産物や公益サービスの需要と供給のバランスの乖離が広がっている。実際に産業用素材の80%以上は輸入に頼っている状況である。

ベトナムでは、森林は生産林、保全林、特別用途林の3種類に区分されている。従来、森林公社は未利用地を含む大部分の林地を管理してきた。しかし、森林公社の管理経営が不十分であったため、ベトナム国政府は、森林公社に対し、多くの改革(株式会社への再編、各地方省特別利用林管理委員会や保全林管理委員会への森林管理業務の移行、生産林の各世帯への再配分など)を開始した。ベトナム国政府は、株式会社化された森林公社と各世帯を主要な生産林経営の担い手に育成することによって、森林資源の持続的な開発・管理、ならびに貧困農民の所得の向上及び雇用の促進という目標を達成しようとしている。しかしながら、土地の割り当てと造林の実施は、各世帯の資金力の不足、不十分な市場情報、各世帯への技術的資金的な支援の不足、ベトナム国政府の能力不足により、遅々として進まないのが現状である。2007年2月に首相決定された「ベトナム林業開発計画戦略2006-2020」では、これらの問題を解決することの重要性が指摘されている。さらに、ベトナム国政府は2007年9月に首相決定第147号において、特に遅れている生産林の造林を推進するため、補助金の拡大などの支援策を決定し、特に条件不利地域である北西部や中部高原地域等は、優先的な配慮が行われることになっている。

このような背景により、ベトナム政府は我が国に対して、生産林の造林を進めるために、地方省の林業部門等の生産林の造林に携わる者を対象として、造林計画を策定し実施していくための能力強化を目的とした技術協力プロジェクトを要請した。JICAは2005年2月から2008年3月までの間、「造林計画策定能力開発調査(FICAB)」により、生産林における計画策定能力の向上に協力した。本開発調査の成果として、生産林の造林事業に関するフェージビリティ調査(F/S)及び事業実施計画(I/P)作成能力向上を目的とした研修パッケージが作成されたことから、この成果品の効果的活用を検討しつつ、各地方省の林業局及

び関係する技術普及部門のスタッフを対象とした造林計画策定能力向上を目的とした研修の実施を想定したものである。

これを受けて、ベトナム国政府からの協力要請の背景、内容を確認し、先方政府関係機関との協議を経て協力計画を策定するとともに、当該プロジェクトの事前の評価を行うために必要な情報を収集・分析し、先方実施機関と R/D（案）を含めた M/M の協議・署名を行うことを目的に本調査を実施することとなった。

1.2 調査団の構成

団員構成

| 氏名 | 担当業務 | 所属 |
|-------|-------|-----------------------------|
| 東城 康裕 | 団長／総括 | JICA ベトナム事務所 次長 |
| 井上 幹博 | 森林政策 | ベトナム農業農村開発省派遣専門家 森林政策アドバイザー |
| 村瀬 憲昭 | 調査企画 | JICA ベトナム事務所 所員 |
| 渡辺 儀彦 | 評価分析 | 社団法人 日本森林技術協会 |

1.3 調査期間

調査団は、2009年7月13日～24日（官団員、7月19日～24日）までの日程で、農業農村開発省林業局等ベトナム側関係機関と協議を行い、7月24日に本プロジェクトの枠組みに関し M/M にて合意・署名した。

調査日程

| 月日 | 曜日 | 内容 | |
|------|----|---------|---|
| | | JICA 団員 | 渡辺団員 |
| 7/12 | 日 | | 成田発 ハノイ着 |
| 7/13 | 月 | | 8:00-8:30 JICA ベトナム事務所打合せ 9:00-9:30 井上専門家との打合せ 10:00- 農業農村開発省林業局（MARD-DOF）との打合せ 15:30- 農業農村開発省国際協力局との打合せ |
| 7/14 | 火 | | 9:00- MARD-DOF との打合せ 10:00- ベトナム林業大学との打合せ |
| 7/15 | 水 | | 9:00- GTZ との打合せ |
| 7/16 | 木 | | （ハノイ→タイグエン省） タイグエン省林業局での打合せ （タイグエン省→ハノイ） |

| | | | |
|------|---|--|---|
| 7/17 | 金 | | 9:00- MARD-DOF との打合せ 15:00- FSSP との打合せ |
| 7/18 | 土 | | 資料整理・団内打合せ |
| 7/19 | 日 | ハノイ発 ダラット着 | |
| 7/20 | 月 | 8:30- ラムドン省林業局での打合せ、視察 (ダラット→ファンザンタップチャム) | |
| 7/21 | 火 | 8:30- ニントアン省林業局での打合せ、視察 (ファンザンタップチャム→ファンティエット) | |
| 7/22 | 水 | 8:30- ビントアン省での打合せ、視察 (ファンティエット→ホーチミン) ホーチミン発 ハノイ着 | |
| 7/23 | 木 | 9:00- 農業農村開発省林業局での打合せ 14:00- R/D 案協議、M/M 案協議 | |
| 7/24 | 金 | 14:00- M/M 署名 (農業農村開発省) 15:30- 日本国大使館報告 ハノイ発 (渡辺団員) | |
| 7/25 | 土 | 成田着 (渡辺団員) | |

1.4 要請の背景及び内容

当初要請では、作成された I/P に基づくモデル造林事業の実施や、要請内容に含まれている融資申請書の作成に関する支援が含まれていた。

当初要請の概要

- 上位目標：対象省の新たに植林された生産林の持続的経営が行われる。
- 案件の目標：

対象省において、小規模土地所有者への融資を利用して、生産林の植林を進めるため、省の林業部、郡、コミューン、世帯及び生産林の植林に関心を有する者に対するフィージビリティ調査 (F/S) 及び事業実施計画 (I/P) の策定ならびに植林実施能力を強化する。
- 成果：
 - a) 中央政府及び対象省の小規模土地所有者の造林推進のための政策や制度を提案する。
 - b) 対象省の農業農村開発局 (DARD) 及び関係する普及部門が、F/S 及び I/P 策定の研修を受け、社会政策銀行等の融資に基づき、市場原理による木材生産、非木材林産物の生産及びアグロフォレストリーを計画し、実施するための技術的助言を参加世帯に与えられるよう、その能力を強化する。
 - c) 参加世帯が利用可能な融資にアクセスできるよう、造林計画や融資申請書類の作成などの必要な手続きを完了させる。

しかしながら、これらの達成には特に資金源の確保面においてプロジェクトの範疇を超えた条件に影響を受けること、また、多くの省に対して同時に造林事業実施や融資まで結びつけるには相当規模の投入が必要と考えられた。従って、本プロジェクトでは、FICABの研修パッケージを活用した対象地方省でのF/S及びI/Pの作成能力向上を目的とした研修のみを実施することで先方との合意が得られた。

第2章 プロジェクト実施の背景

2.1 開発課題の概況等

ベトナム国の第8次社会経済開発計画（2006-2010）では3つの主要な目標分野の1つである環境分野において2010年に森林率を43%に向上させることになっている。また、2007年2月に首相決定された「ベトナム林業開発計画戦略2006-2020」では、ベトナム国政府は、株式会社化された森林公社と各世帯を主要な生産林経営の担い手に育成することによって、森林資源の持続的な開発・管理経営、ならびに貧困農民の所得の向上及び雇用の促進という目標を達成しようとしている。さらに、ベトナム国政府は2007年9月には、首相決定第147号において、特に遅れている生産林の造林を推進するため、補助金の拡大などの支援策を決定し、特に条件不利地域である北西部や中部高原地域等に対しては、優先的な配慮を図ることとしている。しかしながら、土地の割当てと造林の実施は、資金力の不足、不十分な市場情報、技術的・資金的な支援の不足、ベトナム国政府の能力不足により、十分な進展を見ていないのが現状である。

2.2 我が国の援助政策、事業実施計画との位置付け

ベトナム国に対する国別援助計画では、3つの重点分野の1つである生活社会面での改善の中の重点項目である環境分野において森林保全・回復についての支援に重点的に取り組むこととされている。JICA 国別実施方針においても、自然環境保全及び地域開発の一環として森林の保全・造成に取り組むこととされており、また、JICA の課題別指針の自然環境保全においては、6つの戦略課題が設定されているが、その中で、研修及び業務の実践を通じて、必要な専門家、技術者、技術普及員を育成することに取り組むこととされている。

2.3 他ドナー等関連事業

ドイツ技術協力公社（GTZ）、世界銀行、アジア開発銀行等のプロジェクトの中で、造林事業を実施するための技術補完研修が実施されているが、本プロジェクトのような造林事業計画策定能力の包括的向上を目指す研修は行われていない。本プロジェクトでの研修後に、森林セクター支援パートナーシップ（FSSP）を通じた他ドナーへの情報提供、FSSP メンバーによる研修結果のレビュー等が可能とのコメントがあった。

また、FSSP が過去に実施した研修ニーズ調査結果については資料を入手したものの、各地方省の詳細なニーズまで調査されておらず、データも2003年と古いため、参考とするには不十分であると考えられた。従って、本プロジェクト開始後の初期段階で各地方省の研修ニーズを調査したうえで、研修計画を具体化する必要がある。

森林認証取得プロジェクトに対するGTZの見解を確認したところ、第1フェーズにおいて4年間にわたり実施した森林認証基準のベトナム版作成は、膨大な投入を行ったにも関わらず、成功したとはいえないというものであった。第2フェーズでは、3～4年のパイロット事業にて森林認証を森林公社に取得させ、それを国レベルに拡大していくというものである。

第3章 プロジェクトの基本計画

3.1 目標と活動計画

協力の目標（アウトカム）

① 協力終了後に達成が期待される目標（上位目標）

対象地方省における造林面積が拡大される。

（指標・目標値） 対象地方省における造林面積

政府が造林事業推進についての積極的な政策を継続する状況下において、プロジェクト終了5年後、プロジェクト開始前に比べ、造林面積が20%増加すること。

② 協力終了時の達成目標（プロジェクト目標）

対象地方省における主要な林業関係者の造林事業に関する計画策定能力が強化される。

（指標・目標値） 研修課題の成績

OJTにおいて提出が義務付けられる研修課題の評価において100点満点中60点以上の評価を受けること。

成果（アウトプット）

成果1：研修のための準備作業が実施される。

活動1-1：地方省研修チーム(Provincial Study Team: PST)メンバー選考の基準を作成する。

1-2：PSTメンバーを選考する。

1-3：各地域の状況に応じた研修計画を策定する。

1-4：研修計画、F/S及びI/P策定のガイダンスを行う。

（指標・目標値） PSTの設置及び研修計画の作成状況

プロジェクト開始時に各参加地方省にPSTが設置され、研修計画が作成される。

成果2：PSTを対象とした造林計画策定の研修が実施される。

活動2-1：MARDにPMUを設置する。

2-2：研修のための講師を選考する。

2-3：講師に対し、計画のガイダンスを実施する。

2-4：PMUが研修を実施する。

（指標・目標値） PSTの研修への参加状況

PSTメンバーの研修への参加率が平均で80%以上確保される。

成果3：PSTによってF/Sが実行され、I/Pが作成され、公開される。

活動3-1：MARDがF/Sを実行し、I/Pを策定するための予算を配付する。

3-2：OJTとしてF/S及びI/Pのための活動を行う。

3-3：F/S及びI/Pの報告書を作成する。

3-4：F/S及びI/Pの報告書をMARD/DARDのホームページに公開する。

（指標・目標値） F/S及びI/P報告書の作成及び公開状況

プロジェクト終了時にすべての参加地方省がF/S及びI/P報告書を作成し、MARD/DARD

のホームページに公開される。

成果 4：研修体系及びトレーニング・パッケージが改善される。

活動 4-1：研修体系及びトレーニング・パッケージ改善のためモニタリング・評価を行う。

4-2：研修体系及びトレーニング・パッケージ改善のためワークショップを行う。

(指標・目標値) 研修体系及びトレーニング・パッケージの改善状況

プロジェクト終了時に改善された研修計画及び F/S・I/P マニュアルが作成される。

投入 (インプット)

①日本側

・派遣専門家

長期：チーフ・テクニカル・アドバイザー

短期：財務分析、マーケティング、その他

・供与機材：プロジェクト運営、及び、研修に必要な資機材

・研修員受入

・在外事業強化費

供与機材については、MARD-DOF からは、研修実施のための必要備品として 23 省に供与するパソコン、プリンター、プロジェクターならびに車 1 台など、総額約 12,000 千円の機材供与の要望が出された。車両については、プロジェクトの内容に鑑みて、再度 MARD-DOF に対してレンタカーの活用を求める予定である。

また、本邦研修については、対象地方省から各 1 名、計 23 名の本邦研修の要望が出された。本件については、各対象地方省の F/S、I/P の実施促進に資すると思われることから、各地方省の PST のリーダーを想定した研修を含めることとしてある。

②ベトナム国側

・カウンターパート

・施設、土地等

・カウンターパート予算

外部要因

①前提条件

対象地方省が PST の研修参加予算を確保する。

②成果達成のための外部条件

対象地方省が PST の研修参加を優先させる。

③プロジェクト目標達成のための外部条件

PST のメンバーが変更されない。

政府が改善されたトレーニング・パッケージを承認する。

④上位目標達成のための外部条件

対象地方省 (または MARD) が造林計画の策定に必要な予算措置を行う。

策定された造林計画に対して民間から事業資金が投資される。

3.2 研修実施方法

研修実施方法について、要請書に具体的記載はないが、基本的に FICAB の成果であるトレーニング・パッケージを用いた研修とし、パッケージに含まれている Training Plan (研修計画) を活用することが予定されていた。今回の調査では研修計画案の素案を当方より提示した上で先方と協議をし、下記のような形で、地域毎に 3 回の研修を実施することで基本的を合意した。但し、プロジェクト開始後の状況や進捗を見ながら柔軟に研修実施方法を修正して行く必要性についても認識を共有した。

第 1 回研修

FICAB 研修パッケージの紹介、追加研修項目の実施など、F/S、I/P 作成に必要な知識伝達を目的とした研修。

第 2 回、第 3 回研修

各地方省が作成した F/S、I/P のドラフトを用いた実務研修。

1 回目から 3 回目までの間に、研修実施機関が各地方省を訪問し、F/S、I/P 作成の進捗状況のモニタリング及び現場での指導を OJT で行う。

フォローアップ研修

各地方省が作成した F/S、I/P の評価及びフォローアップを行う目的で、プロジェクトの終盤に集合研修を行う。

なお、F/S、I/P の活用策については、農業農村開発省林業局 (MARD-DOF) からは首相決定第 147 号などの造林拡大政策に基づくベトナム国政府の補助金等活用により、対象地方省が造林計画の策定に必要な予算措置を行うことや、策定された I/P を MARD や DARD のホームページで公開する等を行い、民間の投資者への情報提供を積極的に行うことなどを検討していきたい旨発言があった。これらの先方からの提案については、PDM の活動項目や、外部条件に明記した。

また、前フェーズである FICAB で作成した研修パッケージは基本的には生産林を想定したものであるが、一方で保全林の管理向上ニーズの高まり、また、造林事業計画に必要な技術は共通する部分が多く保全林に対しても十分に適用可能と判断されたことから、本プロジェクトにおいては保全林も対象森林とできることについて先方と合意した。なお、各地方省がいずれの森林タイプを対象とするかはプロジェクト開始後の研修初期段階にて決定される

さらに、追加すべき研修項目について、森林認証に関する内容の他に、財務分析、マーケティングが挙げられた。これらの必要性については妥当と認められることから、研修内容に組み込むこととする。

3.3 プロジェクト対象地方省

当初ベトナム側から北東部 11 省を含む 32 省を研修対象にするように要望されていた。それに対して、調査団からは、研修で作成された F/S、I/P が積極的に活用される見込みがあることを重視し、対象地方省の再精査を求めた。

なお、ベトナム国政府は 2007 年 9 月に首相決定第 147 号において、特に遅れている生産林の造林を推進するため、補助金の拡大などの支援策を決定しており、特に条件不利地域である北西部、中部高原地域等は、優先的な配慮が行われることになっている。また、JICA 自然環境保全プログラムにおいては、北西部、中部海岸、中部高原が重点地域となっており、これらの地域を対象とすることを求めた。

その結果、以下の 23 省を対象とすることが提案され、両者の間で合意された：

- 北西部 4 省（ホアビン、ソンラ、ディエンビエン、ライチャオ）
- 北東部 4 省（ハーザン、カオバン、エンバイ、バックカン）
- 中部海岸北部 6 省（タインホア、ゲアン、ハティン、クワンビン、クワンチ、TT フェ）
- 中部海岸南部 6 省（クワンナム、クワンガイ、ビンディン、フーイエン、ニントアン、ビントアン）
- 中部高原 3 省（ダクノン、コンツム、ラムドン）

3.4 プロジェクト実施体制

研修実施機関の管理及び MARD 関連部署や対象地方省との連絡調整を目的として、MARD-DOF 内にプロジェクト運営本部(Project Management Unit : PMU)を設置。

MARD-DOF 側からは、研修実施機関としてベトナム林業大学が適当である旨発言があった。これを受けて、研修内容案を提示しつつ講師の配置等、同大学の研修実施能力を確認したところ、本プロジェクトで想定している規模の研修について実施可能であることが確認できた。そのため、ベトナム林業大学を候補の一つとし、他の機関（例えば FICAB においてパイロット研修を行った森林調査研究所など）との比較の上で、プロジェクト開始後に最終的な研修実施機関の選定を行うこととした。

3.5 他の JICA 協力との相乗効果

(1) 円借款「森林セクターローン」

FICAB のトレーニング・パッケージは、生産林だけでなく保全林造林の事業計画策定にも活用可能であることから、保全林造林を主な目的としている森林セクターローンの対象地域である中部海岸地域の各地方省の人材育成が本案件の結果として期待される。

森林セクターローンの協力準備調査が 6 月末から始まっており、同調査では、対象地方省のローン対象事業の F/S を実施し、F/S レベルの精度で I/P の作成を行うこととしている。同ローン対象事業の質の向上のためには、対象地方省の詳細設計の能力向上が必要であることから、本プロジェクトで FICAB の研修パッケージを用いた包括的な I/P 作成能力向上を目的とした研修を行い、その研修成果を踏まえて、森林セクターローンの実施監理を担うコンサルタントによる OJT が実施されることにより、ローン対象事業の質の向上への貢献が期待できる。

以上から、森林セクターローンが実現する場合には、本プロジェクトの PMU と森林セクターローンの PMU との間で積極的にプロジェクト進捗に関する情報を交換するように依頼し、先方の了解が得られた。具体的には、本プロジェクトの責任機関である MARD-DOF に対しては、担当部署間で本プロジェクトと森林セクターローンの進捗に関する情報共有を定期的に行うなど、本プロジェクトと森林セクターローンとが連携して、対象地方省の造林計画策定能力向上を支援する体制を構築するように求めるものである。

MARD-DOF からは、研修対象者の選定においては、各地方省において森林セクターローン対象者を優先する旨の発言があった。また、調査中に訪問した森林セクターローン対象省のビントアン省で確認したところ、森林セクターローン担当者を本プロジェクトで研修させることについて、基本的に賛成である旨の発言があった。各地方省において森林セクターローン対象者の研修参加を優先することについては、プロジェクト開始当初の研修参加基準の作成の時に必要な基準を設けることとする。

なお、今後北西部において、別の森林分野の円借款事業が実施される場合は、本プロジェクトで作成された I/P の活用が期待できる。

(2) 開発調査「気候変動対策の森林分野における潜在的適地選定調査」

本年 8 月から調査開始予定の案件であり、森林分野における気候変動対策を幅広くカバーするため、AR-CDM (Afforestation/Reforestation Clean Development Mechanism)、REDD (Reducing Emission from Deforestation and Degradation in Developing Countries)、他手法による炭素蓄積促進事業の 3 つの視点から、ベトナム全土を対象として、事業実施のポテンシャルを有する土地に係る情報を主に衛星画像解析を通じて集積し、その分布図等の情報整備を行うことを目的として実施するものである。開発調査での適地選定の結果と、本プロジェクトの対象地方省のニーズを確認しつつ、適宜研修の中に気候変動に関する取り組みに関する項目を含めることとする。

(3) 技術協力「北西部水源地域における持続可能な森林経営プロジェクト」

北西部水源地域の選定されたコミュニティにおいて森林・土地の管理と利用に関する持続的管理モデルの開発を目的とした案件であり、本年度中の詳細計画策定調査が予定されている。本プロジェクトにおいては、北西部省もその対象となっていることから、一体的な能力強化の機会が期待できる。

第4章 プロジェクト実施の妥当性

4.1 評価5項目による評価結果

以下の視点から評価した結果、協力の実施は適切と判断される。

(1) 妥当性

本プロジェクトは以下の理由から妥当性が高いと判断できる。

- ベトナム国の社会経済発展計画、林業開発戦略、林業開発5ヵ年計画等においては、造林事業の推進は、地域経済の発展、環境の保全等のために、その強化が必要とされており、さらに、そのためにMARD-DOFにおいては、人材の育成を重要な分野として取り組むことにしている。ベトナムにおいては、森林分野において各国の協力で、森林の保全、開発のため多くの事業が実施されているが、人材育成そのものを目的とするものは本案件のみであり、他の計画と重複することはなく、本案件で育成された人材は、他の事業においても活躍することが期待されている。
- 造林計画の策定能力向上の分野は、上述したようにわが国の技術協力によって2005年から3年間実施された、ベトナム国「造林計画策定能力開発調査（FICAB）」の経験と教訓を十分活用できるという観点からも協力の妥当性は高い。
- 本案件の対象地方省は、遅れている生産林の造林を推進するに当たり、優先的な配慮を図ることとされている条件不利地域である北西部や中部高原地域等を対象としているほか、森林セクターローン対象地域の中部海岸地域の地方省、さらには北西部水源地域を対象としたプロジェクトの地方省も対象としており、計画策定能力の向上の成果が、これらプロジェクトへ裨益することが見込まれることから協力の妥当性は高い。
- 本案件におけるターゲット・グループは、各地方省において造林事業に関し、計画立案から事業実施までのプロセスを担うDARD、Sub-DOF、森林公社、ローカル・コンサルタントであり、その中から選抜されるPSTメンバーに研修を行うことは、造林計画策定能力の向上というプロジェクト目標に照らして適切なアプローチであると判断される。

(2) 有効性

本プロジェクトは以下の理由から有効性が見込める。

- 本案件では、研修対象者として地方省においてF/S及びI/Pの審査・策定に関係するDARD、SuB-DOF、森林公社、ローカル・コンサルタントの職員が想定されており、プロジェクト目標として彼らの造林事業に関する計画策定能力の向上が設定されている。その達成度をモニターする指標としてOJTにおいて提出を義務付ける課題の成績が組み込まれており、課題の成績を評価することで能力向上の程度が定量的に把握でき、プロジェクト目標の設定は明確になっている。
- プロジェクトの効果を挙げるためには研修を管理・運営する実施機関の実施能力の確保が重要な課題である。本案件では実施機関の候補としてベトナム林業大学が見込まれて

いる。ベトナム林業大学はベトナム最大の林業に関する学術研究・教育機関であり、研修の運営が専門である研修組織を有する等研修に関する豊富な経験を有していることから造林計画策定能力の向上という本案件の目的確保に有効に機能することが見込まれる。

- F/S及びI/Pの実施は、プロジェクトのコンセプト形成から事業実施計画の策定まで一貫した作業であり、その作業に従事する者は固定されることが望ましい。研修においては、各地方省にPSTを設置することを想定しており、選抜されたPSTによる一貫した作業の実施が期待できる。また、MARD-DOFにおいては、研修の実施をとおして改善されるトレーニング・パッケージを計画策定のガイドラインとすることを意図しており、外部条件が満たされる可能性は高い。

(3) 効率性

本プロジェクトは以下の理由から効率的な実施が見込める。

- MARD-DOFは責任機関として2005年から3年間実施されたFICABの運営に携わっており、その後継案件である本案件の効率的な運営に何ら問題ないと考えられる。
- 2005年から3年にわたって実施されたFICABの成果として作成されたトレーニング・パッケージには計画策定能力の向上のため研修に関するカリキュラム、スケジュール等を定めた「研修計画」のほか、研修教材となるF/S及びI/Pマニュアル等が含まれており、このトレーニング・パッケージを活用することで、研修の実施に当たり、新たに研修計画を検討・作成する必要はなく、また、研修教材としてF/S及びI/Pマニュアル、報告書の作成例としてモデルF/S・I/P報告書を用いることで効率的な研修が実施可能であり、効率性は確保されると判断できる。
- 本案件の目的である計画能力の向上は、主として、1年間の実践的なOJTを通して図ることが考えられており、ローカル・コンサルタントの巡回による現地での指導を受け、PST自身の職場内で研修を実施することができる。主としてF/S、I/Pに関する理論を学ぶ集中的な集合研修に、この実践的な現地でのOJTを組み合わせることで高い費用対効果が確保できる。

(4) インパクト

本プロジェクトのインパクトは以下のように予測できる。

- 上位目標である「対象地方省における造林事業の対象面積が拡大される。」に関しては、本案件において実施されるF/Sの結果及び策定されたI/PをMARD及び各地方省のホームページにアップロードし、広く広報、周知することにより民間資金等の導入を促進する意図をMARD-DOFが有していることが確認されており、ベトナム国政府が造林事業の拡大を政策目標としていることと相まってプロジェクト終了概ね5年後には達成できることが見込まれる。

- 本案件の計画策定能力の向上のための研修は、各地方省に設置されるPSTを対象に実施される。PSTは、F/S及びI/PをOJTとして実施するが、その過程において所属する機関の組織的、人的資源を活用することが見込まれることから、彼らが習得する計画策定にかかる能力については、その所属する機関に波及効果をもたらすことが期待される。

(5) 自立発展性

以下のとおり、本プロジェクトによる効果は、相手国政府によりプロジェクト終了後も継続されるものと見込まれる。

- 現在ベトナムにおいては500万ヘクタール造林計画に沿って造林の推進が図られている。この計画は2010年に終了することになっており、その後は、森林セクターが、政府の支援を受けることなく、自らF/Sを行い、民間セクター等にアプローチし、資金導入を図るという方向にあり、計画策定能力の向上を目的とし、その方向に寄与する本案件に対する政府の期待は大きく、継続的な政府の政策支援が期待できる。
- 本案件においてはFICABにおいて開発されたトレーニング・パッケージを活用して研修が行われることが予定されている。MARD-DOFにおいては、このトレーニング・パッケージをF/S・I/P実施のためのガイドラインとして制度化する意図を有しており、本案件をとおして改善されたトレーニング・パッケージがガイドラインとして承認されることによりF/S・I/P策定の促進が期待できる。
- F/S及びI/Pの活用については、首相決定147号等の造林拡大政策に基づく政府補助金等の活用により、対象地方省が造林計画の策定に必要な予算措置を行うことを検討しており、本案件終了後の事業継続も期待できる。

4.2 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

トレーニング・パッケージに含まれるF/Sマニュアルには、事業の実施が、環境に及ぼす影響を評価すること、また、住民、コミュニティー等社会への影響を評価することのほか、少数民族や婦人層への影響についても考察を行うことが記述してある。負の影響がある場合には、その程度によって代替措置の検討や事業計画の変更を行うことが求められており、事業実施が悪影響を及ぼさないよう配慮されている。

4.3 過去の類似案件からの教訓の活用

本案件は、2005年3月から3年間実施されたFICABの後継案件であり、この成果を活用し、さらに広範な地域で造林事業計画の策定能力向上を目指すものである。本案件の実施に当たっては、この開発調査で得られた次のような教訓を活用することが肝要である。

- 集合研修においてその研修効果を確保するためには、その期間と内容・量のバランスをとることが重要であり、そのため、技術移転が不可欠な項目を選ぶこと、理論と実践を関連付けること、研修ごとの重要な学習点を明確にすることが必要である。

- 地方省におけるOJT期間においてF/S・I/Pを円滑に行うためには、調査担当者間の調整と調査グループのリーダーの役割の明確化、ステークホルダーを取込んだ調査プロセスの確立が必要である。
- 計画策定能力に関して森林セクターにおいて、これまで取組みが不足していたPDMをベースにした事業の必要性と事業設計の関連付け、実施機関の役割と責任及びステークホルダー間の調整などの実施体制の構築、定量的データの収集と分析等について重点的な強化を図る必要がある。

4.4 今後の評価計画

- 終了時評価 2012年7月頃
- 事後評価 協力終了後3年後を目途に実施予定

添付資料

資料 1 詳細計画策定調査 M/M (2009年7月24日)

資料 2 研修計画 (案)

資料 3 面談メモ

資料 4 R/D 及び M/M (2009年12月7日)

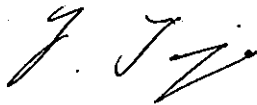
**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE AFFORESTATION PLANNING AND IMPLEMENTATION CAPACITY
STRENGTHENING PROJECT**

The Japanese Detailed Planning Survey Team (hereinafter referred to as “the Team”) organized by Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as “JICA”) and headed by Mr. Yasuhiro TOJO, visited the Socialist Republic of Viet Nam for the purpose of conducting the detailed planning survey on the Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project (hereinafter referred to as “the Project”).

During its stay, the Team and authorities concerned of the Socialist Republic of Viet Nam (hereinafter referred to as “the authorities concerned”) had a series of discussions and exchanged views on the Project based on the field observations. The both sides prepared the drafts of the Project Design Matrix (PDM), the Plan of Operation (PO), the Record of Discussions (R/D) and project management structure.

As a result of the discussions, the both sides agreed to the matters referred to in the documents attached hereto.

Hanoi, July 24, 2009



Mr. Yasuhiro Tojo
Leader
Detailed Planning Survey Team
Japan International Cooperation Agency
Japan



Mr. Nguyen Ngoc Binh
Director General
Department of Forestry
Ministry of Agriculture and Rural Development
Viet Nam

The Attached Document

1. Background

Through three years of implementing Development Study on "Capacity Building for Preparing Feasibility Studies (F/S) and Implementation Plans (I/P) for Afforestation Projects in the Socialist Republic of Viet Nam" (or FICAB), the outputs, results, trial methods and process of preparing the training package have contributed to capacity building on preparing, monitoring, evaluating, examining and approving of F/Ss and I/Ps for afforestation projects in Vietnam. This has contributed to the process of socialization of forestry activities.

In order to strengthen further the capacity for preparing afforestation plan utilizing the Training Package of FICAB effectively, it is necessary to conduct further activities under the form of technical support for carrying out expanded training. Furthermore, through implementing the additional project, the Training Package is expected to be improved and be institutionalized, especially for the Training Plan, Feasibility Study (F/S) and Implementation Plan (I/P) Manuals.

2. Draft of the Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO)

The draft of the PDM (ver.0) and the PO (ver.0) were prepared as attached in Annex 1 and Annex 2. The PDM and PO will be used as a management tool of the Project, in general, and the version 0 of the PDM and the PO will be finalized by the time of signing of the Record of Discussions (R/D) which is the official document that defines contents of technical cooperation project. In addition, they can be revised as needed in the course of the Project implementation with mutual consent of the both sides.

3. Draft of the R/D

The R/D was prepared and confirmed through a series of discussions as attached in Annex 6. It will be finalized by the time of signing.

4. Project Management Structure

A chart of organizational structure was prepared through a series of discussions as Annex 3. It can be revised as needed with mutual consent of the both sides.

5. Counterpart Team

Department of Forestry (DOF), as the focal point of the Project, has the responsibility to invite representatives from relevant organizations within the Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD) and others, to organize meetings to discuss issues related to the Project, and to share information for better implementation of the Project among the relevant agencies when necessity arises. The Project Management Unit (PMU), which consists of DOF staffs, is responsible for managing the Project in cooperation with the Japanese Expert Team.

6. Target areas of the Project

Target areas of the Project are twenty three (23) provinces of five (5) areas as shown in Annex 4.

7. Schedule until the Project commencement

- (1) Signing of R/D: October, 2009.
- (2) Commencement of the Project: January, 2010.

8. Responsibility of the Vietnamese side

The Vietnamese side promised to take following measures:

- (1) By the time of signing the R/D
 - (a) Assignment of the counterparts and administrative personnel;
 - (b) Arrangement and procedure of formulating the Steering Committee (SC).
- (2) By the beginning of the Project
 - (a) Provision of the Project office.
 - (b) Allocation of counterpart budget for the operation of the PMU.

9. Office Space

The Vietnamese side provides an office space equipped with telephone and basic furniture for the use of the JICA Project Team. The place of the office space will be determined by DOF in consultation with JICA Vietnam Office.

10. Equipment and Machineries

The authorities concerned requested the Team to provide equipments and machineries as attached in Annex 5. List of the equipment and machineries will be finalized after determination and approval by JICA.

11. Study Tour for Counterparts in Japan

The authorities concerned requested the Team to organize a counterpart study tour in Japan as one of the activities within the Project. Total of twenty three (23) counterpart staff members with one from each Provincial Study Team (PST) are candidates for the counterpart study tour in Japan.

12. Local Contracts

The Project may hire or contract with local consultants or other relevant organizations to assist the Project in carrying out its activities. The Vietnamese and Japanese sides will prepare the terms of references (TOR) for recruiting the consultants. The contract(s) will be in accordance with rules and regulations of JICA, in consultation with DOF.

13. Budgetary Contribution

JICA will inform the Vietnamese side the total estimated fund of the project which JICA plans to bear after signing of the R/D.

The MARD will consider its contribution and report to the first Joint Coordinating Committee meeting.

List of Annexes

Annex 1: draft Project Design Matrix (PDM)

Annex 2: draft Plan of Operation (PO)

Annex 3: project management structure

Annex 4: Target areas of the Project

Annex 5: Equipment and Machinery

Annex 6: draft Record of Discussions (R/D)

Annex 1: draft Project Design Matrix (PDM)

Project Design Matrix

Ver.0

Project Name : Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project

Target Areas : Northwest area: 4 provinces

Northeast area: 4 provinces

North area of Central coast: 6 provinces

South area of Central coast: 6 provinces

Central Highlands: 3 Provinces

Duration : 2010 - 2012

Target Beneficiaries : Persons designated as PST member among persons who are directly related for conducting F/S and IP in target Provinces

Version 0 Date: July 24, 2009

| Project Summary | Indicators | Means of Verification | Critical Assumptions |
|--|--|---|---|
| <p>Overall Goal The area of afforestation projects in target provinces is expanded.</p> | <p>The area of afforestation project (After 5 years of finishing the project, The area of afforestation project is increase 20 % compared with before the project commencement.)</p> | <p>Statistical data of target provinces</p> | <p>- Vietnamese government continues to hold active policy for promoting afforestation.</p> |
| <p>Objective Capacity of key forestry staff for establishing afforestation plan in target Provinces is strengthened.</p> | <p>Performance of assignment of training (Assignment obliged to submit in OJT achieve more than 60% of fullmark)</p> | <p>- Implementation Report of Training</p> | <p>- Target provinces/MARD budget for preparing Afforestation plan. - Private sector provides fund for conducting afforestation plans prepared by Target provinces.</p> |
| <p>Outputs 1. Preparation work for the training is completed. 2. Training for PST on elaborating afforestation plan is conducted. 3. F/S and I/P reports are prepared by PST and disclosed to the public. 4. The training system and training package are improved.</p> | <p>1. Preparation Work (At the starting period of the project, a PST is established in each target province, and train plans are prepared.) 2. Participation of PST to training (More than 80 % PST is participate to training.) 3. Elaboration and publication of F/S and I/P report (At termination of the project, all target</p> | <p>- Implementation Report of Training - Improved version of the Training Package</p> | <p>- PST members are not changed. - The Government of Vietnam authorizes the improved Training Package.</p> |

| | | | | |
|---|--|---|--|--|
| | <p>provinces prepare F/S and I/P, and publish on MARD and DARD websites, etc.)</p> <p>4. Improved training system and training package. (At termination of the project, Improved training plan and, F/S and I/P manual are prepared)</p> | | | |
| <p>Activities</p> <p>1-1. Prepare a criteria for selecting PST members</p> <p>1-2. Select PST members</p> <p>1-3. Prepare training plans based on the situations in each area</p> <p>1-4. Conduct guidance of training program, F/S and I/P.</p> <p>2-1. Set up Project management unit in MARD.</p> <p>2-2. Select lecturers for training.</p> <p>2-3. Conduct guidance for lecturers</p> <p>2-4. Conduct training by PMU.</p> <p>3-1. Establish a work plan for conducting F/S and I/P</p> <p>3-2. Conduct F/S and I/P as on the job training (OJT)</p> <p>3-3. Prepare F/S and I/P report</p> <p>3-4. Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD web sites, etc.</p> <p>4-1. Conduct monitoring and evaluation (M&E) for improving the training system and the training package.</p> <p>4-2. Hold workshop for improving the training system and the training package.</p> | <p>Inputs</p> | <p>- Target Provinces put high priority to participation of PST for training.</p> | | |
| | <p>Japanese side</p> <p>Japanese experts</p> <p>Machinery and equipment</p> <p>Necessary expenses for training</p> | | | |
| | <p>Vietnamese side</p> <p>Counterparts</p> <p>Project office including electricity, water supply and telecommunication facilities, etc.</p> <p>Relevant data and documents</p> | | <p>Pre-conditions</p> <p>Forest policies and legislations in Vietnam are not changed significantly.</p> | |

Note: PST is Provincial Study Team, F/S is Feasibility Study, I/P is Implementation Plan, DARD is Department of agriculture and rural development, Sub-DoF is Sub department of Forestry and FE is Forest Enterprise.

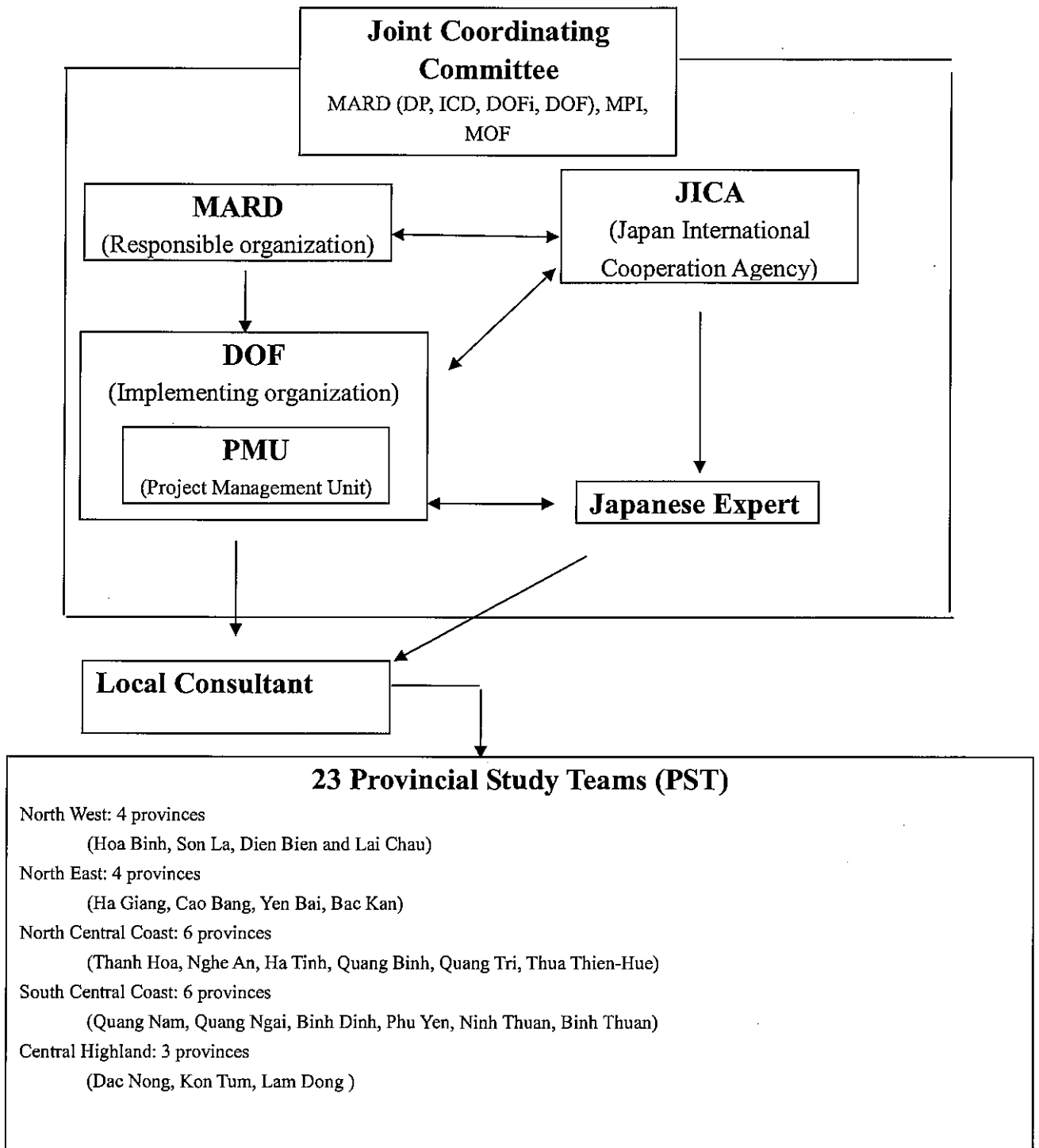
Annex 2: draft Plan of Operation (PO)

Ver.0

| Output | | Activities | | | | Year1 | | | Year2 | | | Year3 | | |
|--------|--|------------|--|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|
| 1 | Preparation work for the training is completed. | 1-1 | Prepare a criteria for selecting PST members | | | | | | | | | | | |
| | | 1-2 | Select PST members | | | | | | | | | | | |
| | | 1-3 | Conduct guidance of training program, F/S and I/P | | | | | | | | | | | |
| | | 1-4 | Prepare training plans based on the situations in each area | | | | | | | | | | | |
| 2 | Training for PST on elaborating afforestation plan is conducted. | 2-1 | Set up Project management unit in MARD | | | | | | | | | | | |
| | | 2-2 | Select lecturers for training | | | | | | | | | | | |
| | | 2-3 | Conduct guidance for lecturers | | | | | | | | | | | |
| | | 2-4 | Conduct training by PMU | | | | | | | | | | | |
| 3 | F/S and I/P reports are prepared by PST and disclosed to the public. | 3-1 | Establish a work plan for conducting F/S and I/P | | | | | | | | | | | |
| | | 3-2 | Conduct F/S and I/P as OJT | | | | | | | | | | | |
| | | 3-3 | Prepare F/S and I/P report | | | | | | | | | | | |
| | | 3-4 | Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD websites,etc. | | | | | | | | | | | |
| 4 | The training and training package are improved. | 4-1 | Conduct M&E for improving the training system and the training package | | | | | | | | | | | |
| | | 4-2 | Hold workshop for improving the training system and the training package | | | | | | | | | | | |

Annex 3: Project Management Structure

Structural Organization Chart of the Project



Paul

Annex 4: Target areas of the Project

- North West: 4 provinces
(Hoa Binh, Son La, Dien Bien and Lai Chau)
- North East: 4 provinces
(Ha Giang, Cao Bang, Yen Bai, Bac Kan)
- North Central Coast: 6 provinces
(Thanh Hoa, Nghe An, Ha Tinh, Quang Binh, Quang Tri, Thua Thien-Hue)
- South Central Coast: 6 provinces
(Quang Nam, Quang Ngai, Binh Dinh, Phu Yen, Ninh Thuan, Binh Thuan)
- Central Highlands: 3 provinces
(Dac Nong, Kon Tum, Lam Dong)

Annex 5: Equipment and Machinery

| No. | Name of equipment | Quantity |
|-----|-----------------------------|----------|
| 1 | Photo-copiers | 6 |
| 2 | Personal Computers (Laptop) | 25 |
| 3 | Laser printers | 25 |
| 4 | Digital video camera | 1 |
| 5 | Digital cameras | 2 |
| 6 | LCD projectors | 6 |
| 7 | Projector's Screen | 6 |
| 8 | GPS | 6 |
| 9 | Facsimiles and telephones | 6 |
| 10 | 4WD car | 1 |



Annex 6:

(DRAFT)
RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE AFFORESTATION PLANNING AND IMPLEMENTATION CAPACITY
STRENGTHENING PROJECT

In response to the request of the Government of Viet Nam, the Government of Japan has decided to cooperate Japan-Viet Nam Technical Cooperation Project: the Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project (hereinafter referred to as “the Project”) in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government Viet Nam, signed on October 20, 1998, (hereinafter referred to as “the Agreement”).

Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred as to “JICA”), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation project of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Government of Viet Nam for the Project. JICA and the Vietnamese authorities concerned had a series of discussions on the framework of the Project. As a result of the discussions, JICA and the Vietnamese authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Hanoi, October, 2009

Mr. Motonori Tsuno
 Chief Representative,
 Viet Nam Office,
 Japan International Cooperation Agency

Mr. Nguyen Ngoc Binh
 Director General
 Department of Forestry
 Ministry of Agriculture and Rural Development

Mr. Tran Kim Long
 Deputy Director General
 International Cooperation Department
 Ministry of Agriculture and Rural
 Development

Mr. Nguyen Xuan Tien
 Deputy Director General
 International Economic Relation Department
 Ministry of Planning and Investment

Pool

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND VIETNAMESE GOVERNMENT

1. The Government of Socialist Republic of Viet Nam will implement the Project in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expenses, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. EMPLOYMENT OF JAPANESE AND OTHER EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provision of Article VIII of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF VIETNAMESE PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Vietnamese personnel connected with the Project for training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF VIETNAM

1. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Vietnamese side as a

result of Japanese technical cooperation will contribute to the sustainable economic and social development of Viet Nam.

3. In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Government of Viet Nam will grant in Vietnamese privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Vietnamese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Service of the Vietnamese counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
 - (2) Buildings and facilities as listed in ANNEX V.
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
 - (4) Means of transport and travel allowance for Japanese experts for official trips required by the Vietnamese side in Viet Nam.
 - (5) Assistance to find suitable furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Viet Nam of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in Viet Nam on the Equipment referred to in II-2 above.
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Leader of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Leader of Forest Development Division, Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development, as the Project Coordinator, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese expert of Chief Technical Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Coordinator on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will also give necessary technical guidance and advice to Vietnamese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VI.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Vietnamese authorities concerned, during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Viet Nam except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Vietnamese Government on any major issues arising from, or in connection with this attached document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Viet Nam, the Government of Viet Nam will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Viet Nam.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this attached document will be three (3) years from January, 2010.

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

ANNEX I: MASTER PLAN

1. Project Title

Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project

2. Objective of the Project

(1) Overall Goal

The area of Afforestation projects in target provinces is expanded.

(2) Project Objective

Capacity of key forestry staff for establishing afforestation plan in target Provinces is strengthened.

3. Outputs of the Project

(1) Preparation work for the training is completed..

(2) Training for Provincial Study Team (PST) on elaborating afforestation plan is conducted.

(3) Feasibility Study (F/S) and Implementation Plan (I/P) reports are prepared by PST and disclosed to the public.

(4) The training system and training package are improved.

4. Activities of the Project

1-1. Prepare criteria for selecting PST members

1-2. Select PST members

1-3. Prepare training plans based on the situations in each area

1-4. Conduct guidance of training program, F/S and I/P

2-1. Set up Project management unit in MARD

2-2. Select lecturers for training

2-3. Conduct guidance for lecturers

2-4. Conduct training by PMU

3-1. Establish a work plan for conducting F/S and I/P

3-2. Conduct F/S and I/P as OJT

3-3. Prepare F/S and I/P report

3-4. Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD websites, etc.

4-1. Conduct M&E for improving the training system and the training package

4-2. Hold workshop for improving the training system and the training package

5. Target Area

The following twenty three (23) provinces of five (5) areas were identified as the target provinces for the Project.

Note: In case that the Master Plan should be changed due to the changes of the situations/environment of the Project, both Governments will agree upon and confirm the necessary changes by exchanging Minutes of Meetings.

ANNEX II: LIST OF JAPANESE EXPERTS

The Japanese experts, who are in charge of the following fields, will be employed:

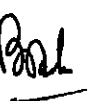
[Long-term assignment]

1. Chief Technical Advisor

[Short-term assignment]

1. Financial economic analysis
2. Marketing (Vietnamese experts)
3. Others (if necessary)

Note: The field and number of short-term experts are subject to change according to the Project activity and available budget.



ANNEX III: LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Part of machinery and equipment necessary for the effective implementation of the Project will be provided by the Japanese side within the budget allocated for technical cooperation. Main items of machinery and equipment to be provided are as follows:

1. Personal computers (laptop)
2. Printers
3. Photo-copiers
4. LCD projectors
5. Car
6. Others (if necessary)

Note:

- (1) Item and quantity are contingent upon available budget.
- (2) The use of these items is limited to the Project activities.
- (3) Detail contents, specifications and quantity of the above mentioned equipment will be decided through mutual consultations within the budget to be allocated for every Japanese fiscal year.

ANNEX IV: LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Vietnamese Counterpart

- (1) The Project Director of the Project Management Unit (PMU) is to be a leader of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- (2) The Project Coordinator and other members of the PMU are to be officers in charge of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- (3) The officers in charge of DARD, Sub- DoF, FE and Local consultant of target provinces who are nominated as PST



ANNEX V: LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

The following will be prepared by the Government of Viet Nam for the Project implementation.

- (1) Project Office including furniture
- (2) Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including telephone, facsimile and e-mail services.

ANNEX VI: JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessity arises, and will work:

- (1) To monitor the progress of the Project Activities according to the Plan of Operation (PO),
- (2) To review and examine the framework of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (3) To discuss and advise on major issues that arise during the Project period, and
- (4) To approve an Annual Plan of Operation (APO)

2. Member of the committee

The committee will be composed of the chairperson, the members and the observers. The chairperson may declare closed sessions against the observers. The rules and regulations for the management of the committee will be determined at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

Leader of the Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development

(2) Vietnamese side.

- Representative, Department of International Cooperation, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Department of Planning,, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Department of Finance, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Ministry of Planning and Investment.
- Representative, Ministry of Finance.

(3) Japanese side

- JICA Team Leader;
- Japanese short-term expert(s);
- Chief representative, JICA Viet Nam Office;
- Personnel to be dispatched by JICA, if necessary.

Note: Official(s) of Embassy of Japan may attend as observer(s). The Chairperson can name

new members or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the Committee.



資料 2

研修計画（案）

1. はじめに

(1) 研修の目的

本研修の目的は、理論的な集合研修、実践的な OJT を行うことにより、研修対象 23 地方省において造林計画策定能力の向上を図ることであり、長期的には、森林セクターにおいて国内民間金融機関、国内外民間企業、援助機関及び政府機関からの造林事業実施にかかる資金調達を促進することを目的とする。

(2) 能力向上の目標レベル

能力向上研修は、地方省研修チーム（PST）が、事業地を選定し、そこで最適と想定される造林計画に係るプロジェクト・オプションについて、フィージビリティ・スタディー（F/S）の実施及び事業実施計画（IP）の作成（以下、「F/S、IP の策定」という）に関する一連の作業を実践的に経験することを通じて行うこととする。研修の到達目標は、上記の資金援助機関に対して投資を誘致するために必要な情報を盛込んだ造林事業のプロポーザル作成が可能なレベルとする。

(3) 研修実施の基本的考え方

1) 研修対象地方省

研修対象の地方省は、次の 23 地方省である。これら 23 地方省を、ベトナム国の地域区分に沿って次の 5 つの地域に区分し、それぞれを 1 地域として、この地域ごとに研修を実施する。

北西部 4 省（ホアビン、ソンラ、ディエンビエン、ライチャオ）

北東部 4 省（ハーザン、カオバン、エンバイ、バックカン）

中部海岸北部 6 省（タインホア、ゲアン、ハティン、クワンビン、クワンチ、TTフェ）

中部海岸南部 6 省（クワンナム、クワンガイ、ビンディン、フーイエン、ニントアン、ビントアン）

中部高原 3 省（ダクノン、コンツム、ラムドン）

2) 研修対象者

研修対象者は、地方省において造林事業計画の作成、審査を担当する者とし、地方省ごとに、これら研修に参加する 5 人のメンバーからなる PST（地方省研修チーム）を設置する。PST においてはリーダーとリーダーを補佐するサブリーダーを指名する。リーダーはチームを統括し、サブリーダーはチームのコーディネーター及び PMU（Project Management Unit）との連絡調整役とする。また、5 名の PST メンバーには、それぞれ、F/S、IP の実施において主として担当する分野（自然条件、森林資源等自然科学分野と財務、市場調査、社会経済条件等社会科学分野の 2 分野）を割振るものとする。

3) 研修の実施方法

研修は、OJT と集合研修を組合わせて、概ね 2 年間にわたり実施する。OJT を主たる研修とし、各地方省の PST は、1 年間、現地において必要な指導を受けつつ、日常的な業務の一環として（OJT として）F/S、IP の策定を行う。集合研修は、F/S、IP の策定に関する理論的な知識、技術を習得し、OJT を効果的かつ効率的に実施するための研修として実施する。また、集合研修は、地域ごとに、その中心となる地方省に設置する地方研修センター（仮称）において行う。なお、これらの研修は、日本人専門家の指導を受けたローカル・コンサルタントが実施することとし、研修の講師もローカル・コンサルタントから派遣される。

4) FICAB 成果の活用

研修の実施に当たっては、「ベトナム国造林計画策定能力開発調査（FICAB）」において策定されたトレーニング・パッケージを活用する。Introductory Training、OJT 等の研修の実行計画の作成においては、トレーニング・パッケージの Book1 である「Training Plan」を利用することとし、特に、その中に定められている研修カリキュラム及び研修スケジュールに沿って研修を実施する。また、主要教材として、同じく Book2 の F/S マニュアル、Book3 の IP マニュアル、Book4 のモデル F/S 報告書及び Book5 のモデ

ル IP 報告書を使用する。

5) F/S・IPの対象事業

研修において F/S、IP の対象とする事業は、F/S、IP の策定終了後、各地方省において PPC (Provincial People's Committee) 等の承認を得て、実際に事業実行に移すことを前提とする。そのため、研修開始前に各地方省において PST は関係機関と協議等を行い、実現可能性の高い事業構想を構築しておくものとする。

2. 研修計画

(1) 概要

研修は、上記 1 の 3) で述べたように短期間の集合研修と 1 年間の OJT を組合わせて実施することとし、次のような研修スケジュールで実施する。(図-1:研修スケジュールを参照)

① 1 年次の後半に 1 回目の集合研修として **Introductory Training** を実施する。この **Introductory Training** は、OJT を効果的、かつ、効率的に実施することを目的にするものであり、F/S、IP の策定に関する基本的な知識、技術について研修するとともに、また、OJT の実施方法等について周知を図るものである。

② 主たる研修として 2 年次に 1 年間 F/S、IP の策定に関する実践的な OJT を実施する。この OJT は、各地方省の PST が、日常的な業務として実現可能性の高い事業構想をもとに F/S、IP の策定に取り組むもので、PST は、日本人専門家の指導を受けたローカル・コンサルタント等の指導を受けながら 1 年間をかけて F/S を行い、IP を策定するものであり、この OJT を通じて造林計画策定能力の向上を図る。

③ OJT 実施期間の 2 年次の中間に OJT の進展を支援するための 2 回目の集合研修 (**Training for Reviewing I**) を実施する。この研修においては、それまでの OJT の進捗状況を検討・評価し、改善を行うための必要な指導を行う。さらに、OJT の進捗状況を勘案し、以後の OJT の円滑な実施のために必要な指導、助言を与える。

④ 1 年間の OJT 終了後、プロジェクト 3 年次の前半に 3 回目の集合研修 (**Training for Reviewing II**) を実施する。この研修においては、実施された F/S 及び策定された IP について評価、分析を行い、その改善について検討を行う等 OJT の実施結果を総括する。

⑤ プロジェクト 3 年次の後半に、4 回目の集合研修 (**Training for Follow-up**) を実施する。この研修においては、それまでの研修の実施状況、完成された F/S 及び IP の内容等について意見交換を行い、2 年間にわたる研修全般について総括を行う。

(2) 個別研修の内容

1) Introductory Training

①目的

OJT を効果的、かつ、効率的に実施することを目的にするものであり、F/S、IP の策定に関する基本的な知識、技術について研修するとともに、また、OJT の実施方法等について周知を図るものである。

②実施方法

(i)北西部、北東部、中部海岸北部、中部海岸南部、中部高原の地域ごとに設置される地方研修センター（仮称）に当該地域に含まれる地方省の PST を集合させて実施する。

(ii)地域ごとの特性及び研修ニーズを反映した研修項目に重点を置き、具体的で実践的な内容とし、実施に当たっては、研修効果を高めるため講義と練習問題・野外実習・討論・プレゼンテーションを有機的に組み合わせる。また、また、有機的な組合せに適した時間配分に留意する。

(iii)研修項目ごとに Teaching note（講義実施要領）を作成し、効率的な研修実施を確保する。

③実施時期

2011年7月から2011年10月の間

④実施期間

10日間

⑤研修受講者数

対象地方省は23省で、各省に5名から構成される PST を設置し、その PST が研修に参加する。研修期間は10日間とするので、延研修受講者数は、1,150名となる。

| 地域 | 対象地方省数 | 研修対象者数(人) | 研修期間(日) | 延研修受講者数(人・日) |
|--------|--------|-----------|---------|--------------|
| 北東部 | 4 | 20 | 10 | 200 |
| 北西部 | 4 | 20 | 10 | 200 |
| 中央海岸北部 | 6 | 30 | 10 | 300 |
| 中央海岸南部 | 6 | 30 | 10 | 300 |
| 中部高原 | 3 | 15 | 10 | 150 |
| 計 | 23 | 115 | | 1,150 |

⑥研修内容

| | | | |
|----|--------------------|-----------------|------|
| 1 | 全体研修計画及び研修実施方法の説明 | 0.5日 | |
| 2 | OJT の全体計画及び実施方法の説明 | 1.0日 | |
| 3 | F/S | ①F/S についての説明 | 0.5日 |
| | | ②プロジェクト構想及び PDM | 1.0日 |
| | | ③財務経済分析 | 2.5日 |
| | | ④マーケティング | 0.5日 |
| | | ⑤自然及び社会経済状況調査 | 0.5日 |
| | | ⑥事業計画の作成 | 0.5日 |
| | | ⑦事業計画の評価・分析 | 0.5日 |
| 4 | IP | 1.0日 | |
| 5 | 野外実習 | 1.0日 | |
| 6 | 森林分野の新しい考え方 | 0.5日 | |
| 合計 | | 10.0日 | |

注：地域の特性及びニーズによって研修項目、時間配分は変更される。

2) On the Job Training

①目的

この OJT は、各地方省の PST が日常的な業務として F/S を行い、IP を策定することを通じて F/S、IP

策定のノウハウを習得し、造林計画策定能力の向上を図ることを目的とする。

②実施方法

(i)この OJT は、造林計画策定能力向上のための主たる研修であり、F/S、IP 策定の実践的な OJT を実施する。各地方省の PST は、日常的な業務として実現可能性の高い事業構想をもとに F/S、IP の策定に取り組むこととし、PST は、日本人専門家の指導を受けたローカル・コンサルタント等の指導を受けながら1年間をかけてF/Sを行い、IPを策定する。

(ii)PMU は、5つの地域ごとに詳細な1年間の OJT の実行計画を作成し、PST に指示する。F/S、IP 策定のプロセスは、6つの段階に区分され、各段階を一つのトレーニング単位とし、それをワーク・ユニット (work unit) と呼ぶ。このワーク・ユニットは、次の3つのステップ、a) PMUによる OJT 実施の現地指導、b) PST による OJT の実施、c) PST による課題の作成で構成され、この実行計画において、各ステップについて、実施すべき作業の実施時期、期間及びその方法、提出すべき課題等が明示され、PST は、この実行計画に沿って研修を実施する。OJT の1年間の概略スケジュールは、図2 On-the-Job Training 実行計画のとおりである。

(iii)OJT は、F/S、IP 策定にかかる6つのワーク・ユニットごとに実施する。各ワーク・ユニットにおいては、ローカル・コンサルタントから派遣される研修指導員等が PST の OJT の進捗状況を把握し、必要な指導を現地において行う。

(iv)各ワーク・ユニット終了時等に、PST は定められた課題を作成し、PMU に提出する。この課題は PMU によって検討・評価され、OJT による造林計画策定能力の向上が評価されるとともに、PST による OJT の実施にフィードバックされる。

③実施時期

2011年1月から2011年12月まで

④実施期間

1年間

3) Training for Reviewing I

①目的

この研修の目的は、OJT の進捗状況を検討・評価し、造林計画策定能力向上の状況を把握するとともに、実施された F/S について、改善を行うための必要な指導を行う。さらに、OJT の進捗状況の評価結果に基づいて、以後の OJT の円滑な実施のために必要な指導、助言を与えることである。

②実施方法

北西部、北東部、中部海岸北部、中部海岸南部、中部高原の地域ごとに設置される地方研修センター (仮称) に当該地域に含まれる地方省の PST を集合させて実施する。その他、Introductory training と同様の実施方法で行う。

③実施時期

2011年5月から2011年8月の間

④実施期間

10日間

⑤研修受講者数

対象地方省は23省で、各省に5名から構成される PST を設置し、その PST が研修に参加する。研修期間は10日間とするので、延研修受講者数は、1,150名となる。

| 地域 | 対象地方省数 | 研修対象者数 (人) | 研修期間 (日) | 延研修受講者数 (人・日) |
|-----|--------|---------------|-------------|------------------|
| 北東部 | 4 | 20 | 10 | 200 |
| 北西部 | 4 | 20 | 10 | 200 |

| | | | | |
|--------|----|-----|----|-------|
| 中央海岸北部 | 6 | 30 | 10 | 300 |
| 中央海岸南部 | 6 | 30 | 10 | 300 |
| 中部高原 | 3 | 15 | 10 | 150 |
| 計 | 23 | 115 | | 1,150 |

⑥研修内容

| | | | |
|---|------------------------------|-----------------------|-------|
| 1 | 研修内容及び研修実施方法の説明、OJT についての再説明 | | 1.0日 |
| 2 | OJT の進捗状況 のレビュー | F/S、IP 策定の作業の実施結果 | 3.0日 |
| | | 課題の評価結果 | |
| 3 | OJT 実施の指導 | OJT スケジュールの修正・確認 | 4.0日 |
| | | F/S、IP 策定の作業内容及び課題の確認 | |
| | | F/S 理論の追加研修 | |
| 4 | 野外実習 | | 2.0日 |
| 計 | | | 10.0日 |

4) Training for Reviewing II

①目的

この研修においては、実施された F/S 及び策定された IP について評価、分析を行い、その改善について検討を行うこと、また、F/S、IP の策定をとおして図られた造林計画策定能力の向上の程度について評価、分析を行うことを目的とする。

②実施方法

北西部、北東部、中部海岸北部、中部海岸南部、中部高原の地域ごとに設置される地方研修センター（仮称）に当該地域に含まれる地方省の PST を集合させて実施する。その他、Introductory training と同様の実施方法で行う。

③実施時期

2012年3月から2012年5月まで

④研修期間

5日間

⑤研修受講者数

対象地方省は23省で、各省に5名から構成される PST を設置し、その PST が研修に参加する。研修期間は5日間とするので、延研修受講者数は、575名となる。

| 地域 | 対象地方省数 | 研修対象者数(人) | 研修期間(日) | 延研修受講者数(人・日) |
|--------|--------|-----------|---------|--------------|
| 北東部 | 4 | 20 | 5 | 100 |
| 北西部 | 4 | 20 | 5 | 100 |
| 中央海岸北部 | 6 | 30 | 5 | 150 |
| 中央海岸南部 | 6 | 30 | 5 | 150 |
| 中部高原 | 3 | 15 | 5 | 75 |
| 計 | 23 | 115 | | 575 |

⑥研修内容

| | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 研修内容及び研修実施方法の説明 | 0.5日 |
| 2 | F/S、IP 報告書の分析及び修正 | 3.0日 |
| 3 | 野外実習 | 1.0日 |
| 4 | F/S、IP 報告書の分析及び修正にかかる意見交換 | 0.5日 |
| 計 | | 5.0日 |

5) Training for follow up

①目的

この研修においては、それまでの研修の実施状況、完成された F/S 及び IP の内容等について意見交換を行い、研修全般についての総括を行うことを目的とする。

②実施方法

(i)この研修は、研修対象の 23 省をすべて一ヶ所に集め、ワークショップとして実施する。

(ii)23 省の各 PST から代表 2 名を参加させる。

(iii)各地域の代表省から策定した F/S、IP について報告させる。

(iv)PMU が研修全般について総括を行い、策定された F/S、IP の活用方策、造林計画策定能力の向上について評価を行う。

③実施時期

2012 年 7 月

④研修期間

2 日間

⑤研修受講者数

| 地域 | 対象地方省数 | 研修対象者数 (人) | 研修期間 (日) | 延研修受講者数 (人・日) |
|--------|--------|---------------|-------------|------------------|
| 北東部 | 4 | 8 | 2 | 16 |
| 北西部 | 4 | 8 | 2 | 16 |
| 中央海岸北部 | 6 | 12 | 2 | 24 |
| 中央海岸南部 | 6 | 12 | 2 | 24 |
| 中部高原 | 3 | 6 | 2 | 12 |
| 計 | 23 | 46 | | 96 |

⑥研修内容

| | | |
|-------|----------------------|-------|
| 1 | 研修全般についての評価結果の発表 | 0.5 日 |
| 2 | 代表省からの F/S 及び IP の発表 | 1.0 日 |
| 3 | F/S、IP の策定に関する意見交換 | 0.5 日 |
| Total | | 2.0 日 |

图-1 研修スケジュール

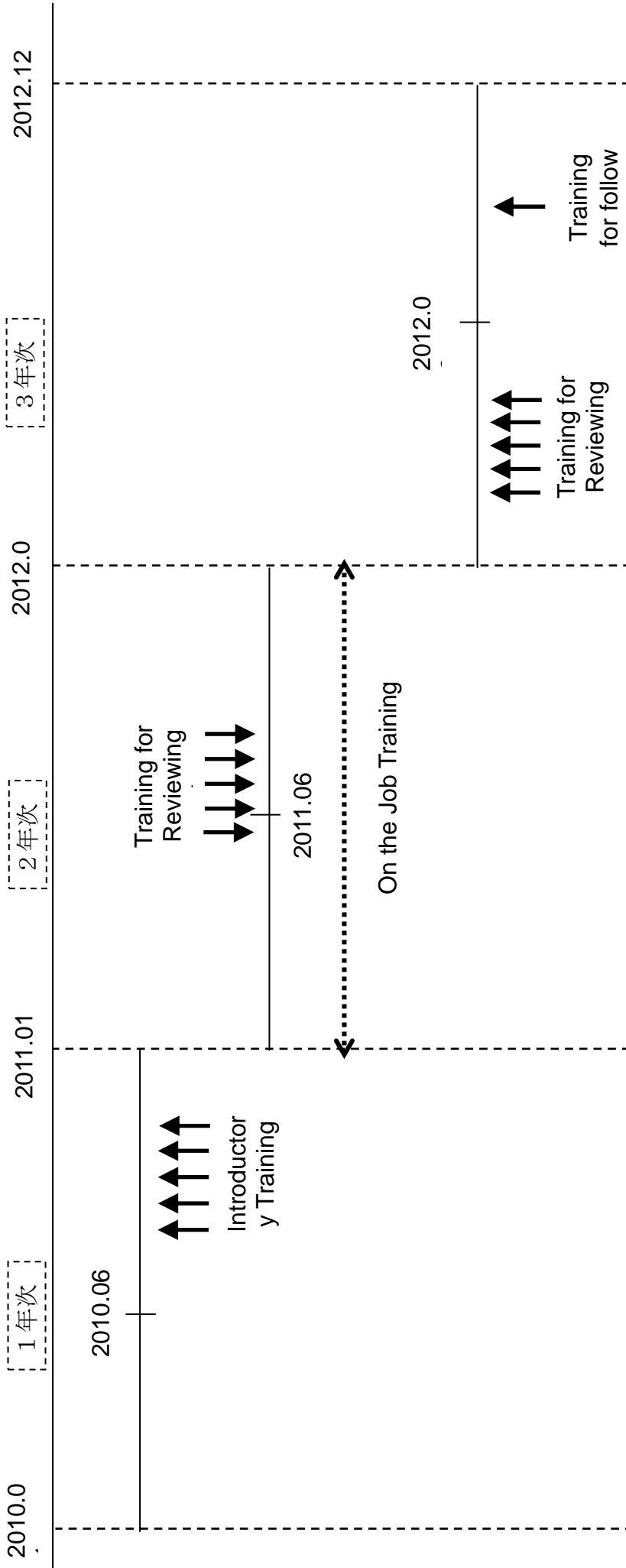


図-2 On-the-Job Training 実行計画

| 月 | 1 | | 2 | | 3 | | 4 | | 5 | | 6 | | 7 | | 8 | | 9 | | 10 | | 11 | | 12 | |
|-----------|---------------------|----|------------------------|----|----|----|-----------------------|----|----|----|---------------------|----|----|----|--------------------------|----|----|----|------------------------|----|----|----|----|----|
| | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 | 上旬 | 下旬 |
| work unit | work unit 0 事業発掘 | | work unit 1 野外調査・分析 | | | | work unit 2 事業計画策定 | | | | work unit 3 事業評価 | | | | work unit 4 F/S 報告書作成 | | | | work unit 5 事業計画書作成 | | | | | |
| 課題提出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 現地指導 | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ | | ↑ |

注：1. 現地指導は、図に示された期間に、研修指導員等が各地方省を巡回して行う。
 2. 各 work unit においては、PST は研修指導員等が示した計画に従って OJT として F/S、IP の策定のための作業を実施する。

資料 3

面談メモ (1) MARD-DOF – その 1

July 12th 2007

I. Participants:

1. Vietnamese side:

1. Ms. Pham Minh Thoa: Deputy Director, DOF, MARD
2. Nguyen Huu Thien: Vice head, Forest Development Division, DOF, MARD

2. Japanese side:

1. Mr. Inoue Mikihiro
2. Mr. Watanabe Yoshihiko
3. Ms. Hoang Thu Thuy
4. Ms. Do Thi Thu Thuy

II. Discussion

1. 森林認証について

According to the Vietnam Forestry Development Strategy, 30% production forest will be certified by 2020.

Currently, Mr. Hua Duc Nhi - Deputy Minister of MARD has assigned DOF to seek for donors to formulate a Forest Certification Program until 2020. For the time being, Institute for Forest Sustainable Management and Certification has requested FSC providing Forest Certificate to Vietnam. However, process of forest certification and forest management review by stakeholders is on going.

Moreover, 10,000 ha plantation by Quy Nhon Plantation Company has been certified by FSC. And, there has been a (FAO) Dutch funded pilot project for forest certification by households in Yen Bai Province. SMARTWOOD is being requested to review material plantations by companies because a lot of paper products made in Vietnam have not yet been exported due to lack of forest certificate.

Nowadays, the Institute for Forest Sustainable Management and Certification, who is NGO and non-profit organisation, is supporting professional works. In near future, stakeholders are invited to a forest certification-working group. In the past, there had a working group but many members had been retired. MARD, therefore, will reorganize it.

Mr. Nhi ordered DOF to formulate the forest certification program with detailed roadmap until 2020.

Nevertheless, there have been difficulties for Vietnam. The most difficulty is that Vietnam has had no national standard. Secondly, initial investment is big to forest owners and price of products has not yet been known. Thirdly, harvesting is mostly conducted based on quota of the Government not on forest sustainable management basis.

2. New project の outline について

Regarding outlines of the project explained by Mr. Watanabe, Ms. Thoa welcomed the follow-up by JICA, which is suitable to Vietnam situation since capacity of FS and IP formulation by Vietnamese side is still limited. She also gave her comments on other items of the project as follows:

- Project duration (3 years): suitable
- Responsible agency: appropriate. However, regarding implementing agency, further discussion should be made. We need a group of experts/consultants as a new approach taking into account the FICAB experience, which employed FIPI as the only sub-contractor who could decide everything. The experts can come from various organisations with their specific expertise suitable to training courses. Moreover, forest management plan is a must included in F/S and IP, then sustainable forest management expert is required as well. And, TOT is also necessary.
- Project target areas: suitable to priority by Vietnamese side in accordance with the Decision 147. However, the project should focus on provinces where have had less donor supported projects such as four provinces of Northwest, Thanh Hoa, Quang Tri, Ninh Thuan, Binh Thuan and so on.
- Target beneficiaries: necessary to concretize number of training courses and participants by the end of project. This project is to train forestry staff at all levels. Capacity varies from level to level. Therefore, training materials are different to each training course. It is necessary to include participants who have the same capacity level into the same training course. Training package should be in line with the Decree 131. However, the Decree 131 is now under revision. Then, the project should be revised based on the revised Decree if available.

3. プロジェクトの背景、必要性などについて

Mr. Watanabe

Whether project is suitable to the socio-economic development policy and forestry development policy of Vietnam

Ms. Pham Minh Thoa

21 proposed target provinces plus 11 Northeastern provinces all have the poorest districts in Vietnam. Then, it is suitable to the socio-economic development policy of Vietnam. Regarding forestry development policy, these provinces still have forests; they have been prioritized for forestry

development and had forestry development planning.

4. プロジェクトの実行体制について

Mr. Watanabe

Regarding implementing agency, further discussion should be made for smooth implementation of the project

面談メモ (2) MARD-DOF – その 2

打合せメモ

2009. 7. 13 14:00から15:30

議題：対処方針案についての DOF の考え方を聞取ること

相手方：Mr.Thien (DOF)、Mr.Son (Thien の部下)

1. 「調査実施の背景/対象開発課題と現状」に関して、次の2点について簡単なメモを作るよう依頼し、DOFは了承した。

1点目：造林推進及び計画策定能力強化に関するニーズについて、何が問題か、解決のために何が必要について、2点目：社会経済開発計画、林業開発戦略及び林業開発5カ年計画と本案件の関連について(計画の記述を引用しつつ)

2. 「基本計画」に関し

(1) 当初要請では、造林実施能力向上に対する支援も含まれているが、プロジェクト目標は研修パッケージを活用した F/S の実施及び I/P の作成を含む造林計画作成能力向上のみとして、先方の了解を得る。→了解を得た。

(2) 生産林だけでなく、保全林も本プロジェクトの対象とする方向で先方の意向を確認する。→保全林も対象とする意向を確認した。

(3) 案件名は対処方針案に記載された「Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project」でよいと了解を得た。

(4) 「北東部 11 省については、作成された I/P に基づいて、DOF 側で予算措置をする等積極活用する旨の意向を確認した上で、本技プロの対象地方省に加えることとする。」に関しては M/M に DOF が積極活用について何らかのコミットをすることについて了解を得た。

(5) 「北東部 11 省以外の地方省における I/P の活用方針について、DOF 側に確認する。」

(6) 「実施期間」に関し、対処方針のとおりで問題ないことを確認した。

(7) 「協力開始時期」を 2009 年 10 月とすることについては、DOF 内部で検討の上、後刻回答する旨の返答があった。

(8) 「FICAB で作成されたトレーニング・パッケージを用いて、対象省の DARD 及び関係する普及部門に対する現地国内研修の実施を主な活動内容とすることについて、再確認する。」→対象省の DARD 及び関係する普及部門に対する現地国内研修の実施を主な活動内容とすることについて了解を得た。

(9) 「トレーニング・パッケージを用いた研修の中で、追加すべき研修項目の有無について確認する。」及び「効果的な研修内容とするために、森林認証の意義について理解を深める内容を含めることについて、先方の意向を確認する。」→AR-CDM、REDD、森林認証について理解を深めるために研修項目とすることについて了解を得た。また、その他の項目については提示がなかった。

(10) 「その他については、調査団より、別紙 3 「技術協力プロジェクトの内容案」に記

載されている活動項目案を提示し、現地協議を踏まえ、最終的な活動項目案を決定する。」
→PDM、POを整理した後、調査団から示し、意見を聞くこととした。

3. 「プロジェクト実施体制」に関し

- (1) 責任機関は「MARD」、実施機関は「DOF」である旨の見解が示された。
- (2) 「DOF内に設置される予定のPMU (Project Management Unit)の人員及び役割を確認し、設置の適否について先方と協議する。」→「DOF内にPMUを設置する。構成メンバーは、Project Director1名、Project Coordinator1名、Management staff2名である。」旨の見解が示された。

4. 「研修実施方法」に関し

- (1) 「「4. 案件形成の基本方針、(3) 研修実施方法」に基づき、先方と協議する。」→7月13日午前、村瀬さんに図示した概略図（現在ワープロで作成中）を手書きで示し、考え方について了解を得た（事前に井上専門家にも示し、了解を得た）。
- (2) 「本調査では、研修の主要項目と研修のおおよその規模（回数、期間、参加人数）について、先方の意向を確認する。」→(1)の概略図に沿って研修の規模を概定し、後刻提示することとした。

7月14日もベトナム林業大学との打合せの前に引続き聞取りを行う事で了解を得た。

面談メモ (3) MARD-ICD

2009. 7. 13 15:30から16:00

議題：表敬訪問

相手方：Mr.Minh Chief of Bilateral Cooperation Division

当方からの、本案件の概要説明に対し、ICDからは、以下の見解が示された。

ICDとしては FICAB が成功裏に終了し、その成果を広める第2フェーズが開始されることは喜ばしく、協力を惜しまない。しかし、次のことに留意する必要がある。

プロジェクトの Authorization のために MARD 大臣の Approval を得る必要がある。

①JICA が Inception Report を作成し、それに基づいて DOF が Project Document を作成する。

②ICD が窓口となり、MPI、MOF、MOJ、Office of Prime minister にコメントを求める。

③コメントがなかったり、すべて解決されれば、MARD の大臣が Approve し、プロジェクトのための正式な活動 (C/P の配置、予算の配付等) が開始される。

④Project Document を作るためには、詳細なプロジェクトの中身が必要で、それは、PDM、PO、R/D、予算額等で示されるものである。Decree131 の下の Circular 0 4 に Format for Project Document が示されている。

⑤いづれにしても、プロジェクトの正式な開始には①から③の手続きが必要で、2から3ヶ月を要する。

⑥技術協力プロジェクトの場合は、開調よりも時間がかかる。

注) ①からの手続きに関しては、ICD 打合せ前の DOF 打合せにおいても DOF からも問題提起があり、MARD 大臣の Approval がなければ、予算も、C/P の配置されない。プロジェクトを開始するためには速やかに Inception Report を JICA が DOF に提出することが必要との見解が述べられた。これに対し、当方からは、Inception Report はプロジェクトが開始されなければ手続き上、作成することができない旨見解を述べた。

面談メモ (4) ベトナム林業大学 (Vietnam University of Forestry) - 1

2009. 7. 14 10:30から11:30

議題：本案件への Local consultant としての参加について

相手方：Vice-Director of University in charge of International Cooperation

PhD.Pham Xuan Hoan

1、当方からプロジェクトの概略について、特に、Local consultant の役割に付言しつつ説明をした後、参加の意思について確認した。

2. 先方からは、喜んで参加したい旨の見解が示された後、PDM などの詳細な情報が欲しいこと、持帰り、内部で参加につき検討を始めること、担当部署は、「Department of Science, Technology and International Cooperation」であることについて説明が行われた。

また、FICAB のトレーニング・パッケージが DOF から手交された。

面談メモ (5) GIZ

2009. 7. 15 9:00から10:15

議題：森林認証プロジェクトの状況

相手方：Dr.Pancel

第1フェーズにおいて4年間にわたり実施した森林認証の基準のベトナム版作成は、GTZとして膨大な投入を行ったが、(造林基準などの細部にこだわるベトナム側の考え方などがあり、)完全に失敗した。

第2フェーズでは、FSCを導入し、持続的な森林経営計画作成に当たり組織・システムの改善によりパイロット事業として認証を受けることから開始し、それを国レベルに拡大させていきたいと考えており、このパイロット事業は、この3、4年でうまくいくと思っている。井上さんが指摘した林業開発戦略で2020年に生産林の30%が認証を受けるというのは困難ということについては、確かに高い目標だが、このパイロット事業から国レベルに広げるということについて何らかの基準ができるのではと考えている。現在、ニントアン、ダックラック、コンツム、クアンビンの4省で実施中であり、コンツム、ダックラックでは認証のためのFSCに沿った(持続的な)森林管理計画が作成され、ニントアンは今年中、クアンビンは来年の終わり頃作成される。

FSC認証を受ける森林管理計画を実行に移すためには、そのための資金が必要である。そこが問題であるが、生産される林産物、その加工まで含めた事業とすることで、可能となることがある。コンツムのFEがドイツの投資を受け、加工まで含めた事業で15から18%という高い内部収益率を示し手織り、その可能性を示している。

面談メモ (6) ベトナム林業大学 (Vietnam University of Forestry) - 2

2009. 7. 15 15:30から16:30

議題：本案件への参加に関し

相手方：Dr.Hoan、Ms.Bich (Dr.Hoan の部下)

1. 当方からは昨日に続き、修正及び新しく作成した PDM、PO、プロジェクト組織図、研修実施概略図、Outline of Training の5点を示した上で、再度本案件について説明をした。その上でプロジェクトの枠組みについての意見及び大学の研修実施能力・体制について聞き取りを行った。

2. 大学からの返答は以下のとおりである。

(1) プロジェクト枠組みについて、基本的に問題はないと考える。組織図の中での Local consultant の位置付けも明らかで、OJT を中心に 4 つの集合研修を組合わせて行われる研修の流れ、それぞれの研修の中身も問題ない。大学としては、PMU と一体となった形で行う必要があり、実際の研修を行う際は、研修方法の精査は必要であると考えている。

(2) 研修の実施能力・体制については、内部に Team (研修実施のための組織) を作る。Team リーダー1名 (これは、パートタイム)、アシスタント2名 (フルタイム) を配置し、研修講師のための人材バンク (講師候補のロングリスト) も作る。大学は 400 名程度の講師がいるので、ほぼすべての分野の講師を自らリクルートできる。また、研修のための Department of Training という組織が学内にあることから、実施に当たって、ここが有しているノウハウを活用できる。

面談メモ (7) タイグエン省 DARD

2009. 7. 16 10:00から11:30

議題：FICAB の成果の活用状況等に関し

相手方：Mr.Son(Vice-Director of DARD)、Mr.Chien(Director of Sub-DoF)、Ms.Ha(Head of Technical Section、Sub-DoF)

注) Mr.Son は、途中退席

1. 準備した質問表に沿って行った聞き取り結果は以下のとおりであるが、資料を整理する必要がある等のことからすべての質問に対し、回答はなされなかった。別途送付されている質問表（持参したものと同一）については22日までに回答を行うとのことであった。

2. 回答状況

(1) FICAB について

1.FICAB の F/S、IP を実施に移したか？

実行に移していない。その理由は、タイグエン・パティクル・ボード会社と農民の間にある土地の配分及び利益の分配について争いがあり、その解決ができなかった。

プロジェクトが対象としたフービン県の土地は、政府資金の援助で造林事業を実行中である。

2.実行できない原因を解消するため FICAB の F/S、IP を見直したか？

基本的に事業対象地の管轄 DPC（事業の推進を実質担うことで計画が作られている）が、タイグエン・パティクル・ボード会社との関わり出てくる事業には、乗気ではなかったため、見直しも行っていない。

3.新たに F/S、IP を実施したか？

取組むチャンスが、これまでのところないので、やっていない。

4.FICAB 研修を受けた職員は残っているか？

6名が PST として研修に参加したが、2名退職、1名転勤で、3名残っている。

5.FICAB 研修を業務に生かしているか。

Site survey, Soil analysis,CCM を含む社会調査は、政府資金による造林事業の計画立案に活用されている。これら500万 ha 造林計画の事業は計画そのものが単純なので、財務分析・マーケティング等を行っていない。

トレーニング・パッケージは、依然として政府によって Institutionalization されていないため、それを待っているところである。

6.さらに受けた研修はあるか？

新しい FICAB2 が始まれば是非参加したいが、専門ごとに細切れで参加するのではなく、

できるだけ synthetic way（プロジェクト・コンセプトの形成から、planning、justification、report writing まで通した形で）で参加し、オールマイティーの人材を養成したい。

7.造林事業は計画のとおり進んでいるか？

保全林、生産林合わせて、今年度 4500ha の予定に対し、7月現在で 4751ha 実行している。

7-3.Decree147 は機能しているか？

Decree147 対応のため、PMU を Sub-DoF に設置し、さらに、県レベルに District Steering Committee と PMU を作り、今年から造林を始めた。147で、13プロジェクトが動いており、これまで 3815ha 実施した。タイグエンは、2番目の速さで造林が始まったが、まだ、組織づくりを行っている省がたくさんある。

8.新しい生産林プロジェクトは実施されたか？どんなプロジェクトか？FICAB の経験は役にたったか？どのように役立ったか？

政府資金によるプロジェクトしか行っていない。台湾の植林専門会社の INNO GREEN から相談があったが、土地の確保に協力が欲しいだけ（農民からリースするのみ）であり、地元と協力するという考え方が希薄であった。すべて農民に細分化して割当てられているので、実現しなかった。

面談メモ (8) MARD-DOF - その3

2009. 7. 17 11:20から12:10

議題：対処方針案についての DOF の考え方を聞取ること

相手方：Mr.Thien (DOF)

1. 当方からの求めに応じ、供与機材、C/P の国外研修及びプロジェクト開始時期について、概ね以下の要望があった。

(1) 機材

研修の実施に当たり、対象5地域のそれぞれの中心地方省にトレーニング・センターとしての機能を有する地方事務所 (Local Office) を設置したい。設置場所は、それぞれの DARD の中を考えている。その事務所の運営は、ベトナム側で負担するが、事務所には、コピー機、電話、FAX、コンピューター等の事務機器が必要で、さらに、研修の実施に車両等も必要である。プロジェクトが終了した後もこれらの機材はプロジェクトのフォローのために有効に活用される。リストは別添のとおりで、総額は140US\$である。また、その内訳金額は別途提示する。

(2) C/P の国外研修

新しく FICAB 2 に参加する地方省の PST に参加する職員 (指導的立場にある者) を国外研修に派遣したい。FICAB で行われた日本への study tour のようなものを想定している。FICAB 2 に参加する者には計画策定能力の向上はもとより、かれらの研修参加意欲をより高めるため、彼らの学習能力、学習態度を改善し、さらには、日本社会のすばらしさも学んで欲しいと考えている。C/P の日本での研修は、FICAB 2 の効果を高めるために有益である。

(3) プロジェクトの開始時期については、2009年の10月で構わないが、プロジェクトの承認には時間が必要である。予算、専門家等の詳細を盛込んだ Project Document を作成しなければならないし、MPI などへの説明にも時間が必要である。

2. 当方からこの3点に関し、概ね以下のように応答した。

DOF からの要請には、機材、C/P 研修について具体的記述がなかったので、日本側は供与することなどを考えていない。また、DOF 側の考え方は説明を受け、希望があることは理解したが、十分な説明になっていないと考える。いずれにしても、それらのことで新しいプロジェクトの成果が確保され、その成果が活用されるということが説明される必要がある。また、北東部11省をプロジェクトの対象とすることについても、研修結果がどのように活用されるか説明されることが必要である。そのため、プロジェクトの成果となる研修をとおして作成される F/S、IP を DOF としてどのように活用するかを説明する必要があるので、説明メモ作成して欲しい。そのメモを検討の上、M/M に DOF から機材、C/P 研修及び北東

部11省もプロジェクトの対象とすることについて要請があったということに記載することを考えたい。なお、この日本側の見解について DOF はメモを作成、日本側に提示することに同意した。また、プロジェクト開始時期について日本側は延期することについて問題があるとは考えておらず、ベトナム側の考え方による。

3. 森林セクター・ローン・プロジェクトとの連携について

新しいプロジェクトで成果として作成される F/S、IP は、JBIC のローンにアプライさせたい。これで実績が上がってくれば、他のドナーの資金源でも使われるようになる。また、これとは別に、FICAB の成果を使って、ローン・モデルを作り、具体的に事業を、小さい規模で動かしたい。その結果に基づいてトレーニング・パッケージを改善し、新しいトレーニング・パッケージを作り、政府としてオーソライズし、すべての地方省でこの新トレーニング・パッケージに沿った計画を申請させたいと考えている。

4. PDM 等プロジェクトの枠組みについて

PDM、PO、プロジェクト実施組織図、研修実施フロー、研修概要説明（5点の資料）について見解を日本側から求めたところ、上部に説明するためにベトナム語版が必要という見解が示されたため、日本側で翻訳し、ベトナム側に示すこととされた。（ベトナム側は、事務レベルでは問題がないと考えている）。

5. 上記4項目の事項を含め、議論が必要な事項については、日曜からの現地調査の期間に双方で議論を行い、結論を得ることとされた。

面談メモ (9) FSSP

2009. 7. 17 15:00から16:30

議題：ニーズ調査結果及び他のドナーの研修プロジェクトについて

相手方：Vice-Director Coordination Office FSSP Ms.Van

1. 当方の新たなプロジェクトに関する説明に対し、①研修効果を確保するため研修生選抜の基準を検討すること及び研修生を固定することが必要であること、②研修対象を DARD、Sub-DoF のみならず、実際に事業を行う FE 職員含める必要があること、③F/S、IP を作成する能力だけでなく、作成された F/S、IP を評価する能力の強化も行う必要があることについてアドバイスがあった。

2. ニーズ調査について

新しい森林開発戦略(2006-2020)を作成するため 2003・4 に取りまとめられたもの、Ms.Van 着任前のもののため説明は受けられなかったが、添付の報告書を受領した。各省ごとのニーズは示されておらず、ニーズ取りまとめ表は一般的な表現のものが見受けられる。(内容検討は後刻行いたい。) Ms.Van からは、データが古いので、JICA 自らプロジェクト対象省で調査を行い、この調査をアップデートして欲しいとの見解があった。

3. ドナーの研修実施状況と連携について

(1) 25 のパートナーの中で研修のコンポーネントを持っているプロジェクトを実施している主要なものは次のとおりであるとして、概ね以下の説明があった。

①GTZ：SFDP プロジェクト・経済的、社会的及び環境保全の観点からの持続可能な林業開発計画を指向するプロジェクトで、小規模農民を対象とした技術的な研修が、植林を適切に行う等のために行われている。

②WB No3 プロジェクト (Forest Sector Development Project)ベトナム社会政策銀行をとおした2ステップローンを利用した小規模農家による造林事業。65千haの造林計画から25千haに計画縮小された。小規模農家にフォーカスした植林に関する研修が行われている。

③ADB：Forestry and Livelihood Improve Project(FLICH) 主として中・小規模の企業に対し植林のためのローンを提供するもので、開始されたばかりのプロジェクトである。

④Kfw プロジェクト No.6 及び7

小規模農家のみを対象とし、No.6 ではグラントで、No.7 ではローンで植林資金を提供植林に関する技術について研修を実施

これらのプロジェクトで行われている研修は、プロジェクトの事業を実行するに当たる必要となる部分に対する技術的な研修であり、能力向上そのものを目的としたプロジェクトは FICAB 及び FICAB2 以外にはない。相互の連携については、FICAB2 開始後、(2) のよう

な手段を活用して行えばよく、FSSP としてのアレンジは喜んで行うことができる。

(2) これらのプロジェクトとの連携について以下の説明があった。

①FSSP の web site に library があり、FSSP パートナーは、この site を利用し、必要な情報を収集できる。FICAB 2 では、自身の研修計画をこの site を活用し、広報することでドナーに情報提供できるとともに、他ドナーからのフィードバックも期待できる。

②FSSP として研修に関する Forum を開催し、パートナーの参集を求め、研修結果の review を行うことで情報交換が可能である。

③Review Meeting を定期的に行っている。この場でさまざまな経験について意見交換できる。

④研修の技術的なことに関しては、Technical level Meeting を開催することも可能である。これらの会議などをおして連携を図ることが適当で、そのアレンジについては FSSP が行うことができる。特に、Technical level Meeting について新しいプロジェクトからの要請があれば、FSSP でアレンジする。

面談メモ (10) ラムドン省 Sub-DOF

AM - 20th July 2009

I. Participants from Sub-DOF

- Mr. Pham Quang Huy, Vice Director, Sub-DOF
- Mr. Nguyen Van Bang, Head, Technical Division, Sub-DOF
- Mr. Le Van Trung, Vice head, Technical Division, Sub-DOF (participated in FICAB)
- Mr. Do Van Vui, technical expert (participated in FICAB)

II. Discussion

Before discussion, outline of forestry current status in Lam Dong Province and utilization of FICAB results is represented by Mr. Trung with the main items as follows:

- Forestry current status:

- + Most forested areas are located in Bao Lam and Di Linh Districts
- + Main planting tree species is Pinus kesiya. Other species planted are Acacia, Bamboo, cashew and so on in lower area (under 300 m altitude)
- + Total plantation area is 58,499 ha out of 602,757 ha as total forestry land area. Pinus kesiya plantation area occupies for more than 70% of total plantation one in Lam Dong Province because of site and climatic conditions. However, business cycle of Pinus kesiya plantation is long then it has no economic ineffectiveness. Lam Dong Province, therefore, has been piloting models of shortened business cycle less than 20 years by Di Linh and Da Huoi Forest Companies. Moreover, to rehabilitate poor and exhausted natural production forest, rubber trees have been planted. Total rubber planted area is 1,295 ha so far. Total area to be planted for rehabilitation of poor and exhausted natural production forest would be 17,900 ha in districts of Da Te, Bao Lam, Duc Trong, Di Linh and Lam Ha mainly. Up to now, PPC of Lam Dong has approved a poor and exhausted natural production forest rehabilitation plan with total area of 9,957.13 ha for economic plantation. (Notes: poor and exhausted natural production forest means forest with yearly increment less than 50m³/ha and number of timber trees with regeneration capacity less than 800).

- Utilization of FICAB results:

The training package developed by FICAB is very important to afforestation project formulation in Lam Dong Province since there are 34 forest stakeholders including forestry companies, protection forest management boards, and national parks. However, it has not yet been institutionalized then not utilized fully. Therefore, formulation of afforestation project is based on regulations of the previous Decree 16/2005/ND-CP and Decree 12/2009/ND-CP that do not include project feasibility analysis

based on forest product analysis results, economic effectiveness and project prospect in terms of marketing approach, risks and so on. In addition, the training package has not yet been disseminated to forest stakeholders, only those who are in charge of appraising afforestation project proposals such as sub-DOF staff and forestry engineers of Agriculture and Forestry Consultancy and Designing Joint Stock Company and Da Teh Forestry Company (ever being model for F/S and IP by FICAB in Lam Dong Province) are using it.

Requests from Lam Dong Province:

DOF is kindly requested to advice MARD leader to submit the Government the Training Package for institutionalization.

Core technical staff who were trained by FICAB are supported to disseminate their knowledge of training package to forest stakeholders/owners

Trainings on GIS application for forest resources management and inventory, on plantation value determination are provided

Research into crop composition with high economic value and eco-environment effectivity

1. Mr. Murase

Discussion mainly focuses on training needs (item 4. Composition of training) since the questionnaire sent from DOF has not yet been received by Sub-DOF. Then, it will be filled out by Sub-DOF and submitted to DOF later.

2. Mr. Trung

(Mr. Trung provided answers to questions in order of item 4)

- There are many staff who want to participate in the training since there have been a lot of afforestation investment projects

- There were 8 staff from technical division of Sub-DOF, 4 from Agriculture and Forestry Consultancy and Designing Joint Stock Company, and 1 from Division of Finance and Planning, DARD who participated in FICAB. These staffs are to participate in the training course of FICAB 2. In addition, staffs from 8 forestry companies, 15 protection forest management boards (current 23 protection forest management boards are going to be reorganized into 15 ones), and Research Center of Lam Dong can be trainees of the training course.

- Out of 8 staff from Sub-DOF, there are 7 engineers of forestry and one engineer of industry (Mr. Trung). The trainee from DARD has economic background. Out of 4 trainees from Agriculture and Forestry Consultancy and Designing Joint Stock Company, there are 2 forestry engineers, 1 economic engineer, and 1 environment engineer.

3. Mr. Murase

It is intended that there will be 5 trainees from each province. Who are candidates for being trainees?

4. Mr. Trung

There should be 3 from sub-DOF, 1 from DARD and 1 from Agriculture and Forestry Consultancy and Designing Joint Stock Company.

5. Mr. Murase

How long can trainees be allowed to take a training course period?

6. Mr. Trung

One week since they have had other permanent assignments

7. Mr. Murase

What kind of training do they want to take?

8. Mr. Trung

In FICAB, trainees were trained economic and financial analysis but they need to be retrained. And others are followed the requests above

9. Mr. Watanabe

What kind of priorities should be given to training? For example, what kind of subject?

10. Mr. Trung

Economic and financial analysis, GIS application, EIA, etc.

11. Mr. Watanabe

After developed FS and IP, have you had afforestation projects?

12. Mr. Trung

There have been 2 on-going projects in Da Teh by Da Teh Forestry Company. It is presumed that FS and IP were used with revision to get fund for afforestation project.

13. Mr. Watanabe

Has Sub-DOF used FS and IP?

14. Mr. Trung

Yes, Sub-DOF used FS and IP as reference for appraisal of afforestation projects

15. Mr. Watanabe

What are PST members working?

16. Mr. Trung

Mr. Dung has been promoted to be Vice Director of Da Nhim Project Management Board. Mr. Sang is now vice director of Agriculture and Forestry Consultancy and Designing Joint Stock Company. Others are working in Sub-DOF

17. Mr. Inoue

FICAB 2 may be focusing on FS and IP training. In addition to that there would be other additional subjects such as forest certification, climate change related issues and so on. Lam Dong province is a pilot one for PES. How about progress of PES in Lam Dong?

18. Mr. Trung

Regarding forest certification, Di Linh Forestry Company was selected for forest certification. WWF provided a consultant of forest certification who visited and worked with Di Linh Forestry Company but after that there has had no information.

For PES, Winrock is now supporting to pilot 3 sites with total forestry land of 188,576 ha. As a result, Da Ninh and Da Nhim Hydro Power Plants have to pay 44 billion VND/year (20VND/Kw). And, Sai Gon Water Supply Company and Dong Nai Water Supply Company have to pay 5 billion VND/year (40VND/m³). So far, two hydro power plants have paid 18 billion VND. The other two water supply companies have not yet paid since there has been a debate of water quality at the water supply company. The payment of 18 billion VND is poured into the Forest Protection and Development Fund established in 5th October 2009. According to current regulation, 10% of payment remains in the Fund, 10% to contracted households, and 80% to households. Winrock also organized training on GIS application and SWAT. Phase II will focus on CO₂ sequestration. Phase I supported to set up K coefficient to determine payment rate.

19. Mr. Inoue

Forests that are being managed by companies will be allocated to households?

20. Mr. Trung

Forest owners as companies sign contracts with households for forest management and protection. There is a WB sponsored pilot project for forest and forestry land allocation to households in buffer zones of national parks with total area of 8,696 ha.

面談メモ (11) ニントアン省 Sub-DOF

21st July 2009

I. Participants from Ninh Thuan

- Mr. Bui Anh Tuan, Vice Director, DARD
- Mr. Pham Thieu, Director, Sub-DOF

II. Discussions

1. Mr. Murase

Training needs of Ninh Thuan?

2. Mr. Tuan

Questionnaire sent by DOF was received yesterday afternoon (5 PM)

3. Mr. Murase

Asked question by question

4. Mr. Thieu and Mr. Tuan

Answered question by question as below

- Number of DOF staff: 13
- Number of extension staff: 5
- Total production forestland is 40,978 ha of which 26,000 ha is natural production forest, 4,193 ha plantation, and 10,543 ha bare land. Two forestry companies are allocated production forestland because in the past all forests were protection ones
- There is no realization of the Decision 147
- Total protection forestland is 115,863 ha of which 31,706 ha is bare land. From 2007-2008, some 31,706 ha were planted by Decision 100. And, as planned, 1,400 ha will be planted in 2009.
- There are many investors interested in afforestation. PPC has basically agreed with afforestation project proposal by Dai Phu Qui Company (from Ho Chi Minh City, 500 ha), Thien Loc Company (from Ho Chi Minh City, 500 ha), and Ngoc Doanh Company Ltd. (from Khanh Hoa Province, 1000 ha). Afforestation by companies is to rehabilitate poor and exhausted natural production forest.
- DARD/Sub-DOF provided advices to investors in terms of investment mechanism such as investment rate, benefit sharing, sites and so on, and planting tree species, planting technique, etc.
- Minh Son Forest Company with support has prepared site of 12,623 ha natural production forest for FSC forest certification. If Minh Son Forest Company successfully receives forest certification from FSC, another company namely Tan Tien will follow it for forest certification. Purpose of FSC forest

certification is to increase value of timber for export.

- Staff of Ninh Thuan Province want to participate in the training: 2 each from protection forest management boards namely Ninh Phuoc, Tan Giang, Song Chau, Krong Pa, and Nui Chua, from DARD, Sub-DOF and 2 companies. There are 16 in total with background of forestry and forestry economics.

5. Mr. Murase

It is intended to have 5 participants from each province. Who will be nominated?

6. Mr. Tuan

1 from Sub-DOF, 1 from DARD, 1 from forestry company, and 2 from protection forest management boards.

JICA is kindly requested to include afforestation project management training for leaders. Leaders of DARD have ever participated in such kind of training but not inclusive of investment management. Moreover, besides training in Vietnam, it is necessary to have overseas training by study tours.

7. Mr. Murase

JICA would like to know utilization of training results by province

8. Mr. Tuan

Currently, demand of training in province is very high. After trained, 5 trainees would re-train others to disseminate results of training. 5 trainees would formulate afforestation projects to be submitted to investment sources since Ninh Thuan has huge demand of investment for protection forest, and poor and exhausted natural production forest. Ninh Thuan province is the poorest in Vietnam.

In the past and now, Ninh Thuan province depends on the Government for afforestation. It has not received any foreign projects. However, the 661 program will be over by 2010 then investment demand is very high since bare land area is more than 50,000 ha. Therefore, JICA project is very important to Ninh Thuan province because it helps Ninh Thuan approach international donors and investors.

9. Mr. Murase

How long should the training take?

10. Mr. Tuan

It depends on requirement of specific training: one month or more

11. Mr. Murase

What kind of training?

12. Mr. Tuan

Many

Ninh Thuan is facing difficulties in economic afforestation but it can participate in AR-CDM but no one knows about AR-CDM. Fortunately, Ninh Thuan is near to Cam Ranh Port (Khanh Hoa province).

面談メモ (12) ビントアン省 Sub-DOF

22nd July 2009

I. Participants from Binh Thuan

- Mr. Tuan, Vice Director, DARD
- Mr. Chien, Head of Finance and Planning Division, DARD
- Mr. Son, expert of Finance and Planning Division, DARD
- Mr. Sy, Vice Director, Sub-DOF
- Ms. Chinh, Head of Forest Development Division, Sub-DOF

II. Discussions

1. Mr. Tuan

Training is very important to Binh Thuan province

2. Mr. Sy

- Number of Sub-DOF staff: 16
- Number of extension staff: 6
- State budget for management and administration (forest extension) by 661 program is 100 million VND/year
- Total area of production forestland is 186,410 ha of which 80% are natural forests
- There is no realization of Decision 147 in Binh Thuan province since production forests have been allocated to management boards.
- Total protection forestland area is 151,117 ha. After the Decision 100, some 1,000 ha were planted in 2007, 300 ha in 2008 and 600 ha planned for 2009. Total bare land is 2,000 ha of which 1,000 ha are suitable to being planted and 1,000 ha impossible for being planted since they are moving sand and stone hills.
- There had been private investors interested in afforestation. However, they wanted to lease land not joint venture. DARD/Sub-DOF provided them advices of planting site, tree species, etc.
- There is no forest certification in Binh Thuan province. Forest certification is heard about only.
- Many staff would like to participate in the training. Total number is 50. Out of 50, 2 from each management board, 2 from each company, and staff from DARD and Sub-DOF. They all have forestry and forestry economic background.
- Training period depends on requirement of specific training.
- Subjects of training: financial and economic analysis, environment analysis, afforestation management for leaders of DARD and Sub-DOF, FS and IP skills, etc.

3. Mr. Murase

We might invite 5 persons from one province. Who to be nominated?

4. Mr. Sy

- 1 from Finance and Planning Division, DARD
- 2 from Sub-DOF
- 1 from management board
- 1 from company

5. Mr. Murase

5 trainees are expected to disseminate results of training to others. Do you agree with it?

6. Mr. Tuan

DARD will create favorable conditions for 5 trainees to participate in the training. DARD will nominate those who are capable to receive training and re-train others.

7. Mr. Murase

How to utilize FS and IP?

8. Mr. Sy

If FS and IP are feasible, they will be used for calling investment from private sector

9. Mr. Inoue

Investors come from Binh Thuan and Ho Chi Minh City?

10. Mr. Sy

Investors come from Binh Thuan, Ho Chi Minh City and outside

11. Mr. Inoue

Have Japanese companies come?

12. Mr. Sy

Yes, but they wanted to have a very large area for afforestation of paper materials

13. Mr. Inoue

Why were not allocated land of 4 forestry companies accumulated?

14. Mr. Sy

Japanese company wanted to lease land not joint venture. 4 forestry companies wanted to have joint venture and they have had joint venture with a Korean Company

15. Mr. Inoue

Main planting species?

16. Mr. Sy

Fast growing species are *Acacia auriculiformis*, drought resistant Neem

17. Mr. Inoue

Condition of protection forest

18. Mr. Sy

- Medium and rich: 30%

- Poor and exhausted: 70%

19. Mr. Watanabe

Have you ever formulated FS and IP?

20. Mr. Sy

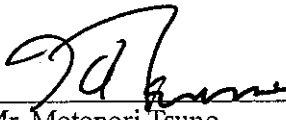
Yes, but FS and IP are very simple in accordance with 661 program, no FS and IP for foreign investors.

**RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE AFFORESTATION PLANNING AND IMPLEMENTATION CAPACITY
STRENGTHENING PROJECT**

In response to the request of the Government of Viet Nam, the Government of Japan has decided to cooperate Japan-Viet Nam Technical Cooperation Project: the Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project (hereinafter referred to as "the Project") in accordance with the Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the Government Viet Nam, signed on October 20, 1998, (hereinafter referred to as "the Agreement").

Accordingly, Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred as to "JICA"), the official agency responsible for the implementation of the technical cooperation project of the Government of Japan, will cooperate with the authorities concerned of the Government of Viet Nam for the Project. JICA and the Vietnamese authorities concerned had a series of discussions on the framework of the Project. As a result of the discussions, JICA and the Vietnamese authorities concerned agreed on the matters referred to in the document attached hereto.

Hanoi, December 7, 2009



Mr. Motonori Tsuno
Chief Representative
Viet Nam Office
Japan International Cooperation Agency



Mr. Nguyen Ngoc Binh
Director General
Department of Forestry
Ministry of Agriculture and Rural Development



Mr. Nguyen Xuan Tien
Deputy Director General
International Economic Relations Department
Ministry of Planning and Investment



Mr. Tran Kim Long
Deputy Director General
International Cooperation Department
Ministry of Agriculture and Rural Development

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN JICA AND VIETNAMESE GOVERNMENT

1. The Government of Socialist Republic of Viet Nam will implement the Project in cooperation with the Government of Japan.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan given in ANNEX I.

II. MEASURES TO BE TAKEN BY JICA

In accordance with the laws and regulations in force in Japan and the provisions of Article III of the Agreement, JICA, as the executing agency for technical cooperation by the Government of Japan, will take, at its own expenses, the following measures according to the normal procedures of its technical cooperation scheme.

1. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

JICA will provide the services of Japanese experts as listed in ANNEX II.

2. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

JICA will provide such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III. The provision of Article VIII of the Agreement will be applied to the Equipment.

3. TRAINING OF VIETNAMESE PERSONNEL IN JAPAN

JICA will receive the Vietnamese personnel connected with the Project for training in Japan.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF VIETNAM

1. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the self-reliant operation of the Project will be sustained during and after the period of Japanese technical cooperation, through full and active involvement in the Project by all related authorities, beneficiary groups and institutions.
2. In accordance with the provisions of Article IV of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the technologies and knowledge acquired by the Vietnamese side as a

Handwritten signatures and initials:
A large signature on the right side.
A smaller signature below it.
The word "Pool" written at the bottom right.

result of Japanese technical cooperation will contribute to the sustainable economic and social development of Viet Nam.

3. In accordance with the provision of Article VI of the Agreement, the Government of Viet Nam will grant in Vietnamese privileges, exemptions and benefits to the Japanese experts referred to in II-1 above and their families.
4. In accordance with the provisions of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will ensure that the Equipment referred to in II-2 above will be utilized effectively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.
5. The Government of Viet Nam will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Vietnamese personnel from technical training in Japan will be utilized effectively in the implementation of the Project.
6. In accordance with the provision of Article V of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to provide at its own expense for the Project:
 - (1) Service of the Vietnamese counterpart personnel and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
 - (2) Buildings and facilities as listed in ANNEX V.
 - (3) Supply or replacement of machinery, equipment, instruments, vehicles, tools other than the Equipment provided through JICA under II-2 above.
 - (4) Means of transport and travel allowance for Japanese experts for official trips required by the Vietnamese side in Viet Nam.
 - (5) Assistance to find suitable furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
7. In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam will take necessary measures to meet:
 - (1) Expenses necessary for transportation within Viet Nam of the Equipment referred to in II-2 above as well as for the installation, operation and maintenance thereof.
 - (2) Customs duties, internal taxes and any other charges imposed in Viet Nam on the Equipment referred to in II-2 above.
 - (3) Running expenses necessary for the implementation of the Project.

Handwritten signatures and initials, including the name "Paul" written vertically.

IV. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Leader of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development, as the Project Director, will bear overall responsibility for the administration and implementation of the Project.
2. Leader of Forest Development Division, Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development, as the Project Coordinator, will be responsible for the managerial and technical matters of the Project.
3. The Japanese expert of Chief Technical Advisor will provide necessary recommendations and advice to the Project Director and the Project Coordinator on any matters pertaining to the implementation of the Project.
4. The Japanese experts will also give necessary technical guidance and advice to Vietnamese counterpart personnel on technical matters pertaining to the implementation of the Project.
5. For the effective and successful implementation of technical cooperation for the Project, a Joint Coordinating Committee will be established whose functions and composition are described in ANNEX VI.

V. JOINT EVALUATION

Evaluation of the Project will be conducted jointly by the two Governments through JICA and the Vietnamese authorities concerned, during the last six months of the cooperation term in order to examine the level of achievement.

VI. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

In accordance with the provision of Article VIII of the Agreement, the Government of Viet Nam undertakes to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in technical cooperation for the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in Viet Nam except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

Handwritten signatures and initials:
A large handwritten signature, possibly "Rach", is written in the bottom right corner. To its left, there are several smaller handwritten marks and initials, including what appears to be "YD" and "Rach" written twice.

VII. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between JICA and Vietnamese Government on any major issues arising from, or in connection with this attached document.

VIII. MEASURES TO PROMOTE UNDERSTANDING AND SUPPORT FOR THE PROJECT

For the purpose of promoting support for the Project among the people of Viet Nam, the Government of Viet Nam will take appropriate measures to make the Project widely known to the people of Viet Nam.

IX. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this attached document will be three (3) years from the arrival date of Chief Technical Advisor of JICA expert

- ANNEX I MASTER PLAN
- ANNEX II LIST OF JAPANESE EXPERTS
- ANNEX III LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT
- ANNEX IV LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL
- ANNEX V LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES
- ANNEX VI JOINT COORDINATING COMMITTEE

Handwritten signatures and initials:
KS
M. H.
Pool

ANNEX I: MASTER PLAN

1. Project Title

Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project

2. Objective of the Project

(1) Overall Goal

The area of Afforestation projects in target provinces is expanded.

(2) Project Objective

Capacity of key forestry staff for establishing afforestation plans in target Provinces is strengthened.

3. Outputs of the Project

(1) Preparation work for the training is completed.

(2) Training for Provincial Study Team (PST) on elaborating afforestation plans is conducted.

(3) Feasibility Study (F/S) and Implementation Plan (I/P) reports are prepared by PST and disclosed to the public.

(4) The training system and training package are improved.

4. Activities of the Project

1-1. Prepare criteria for selecting PST members

1-2. Select PST members

1-3. Prepare training plans based on the situations in each area

1-4. Conduct guidance of training program, F/S and I/P

2-1. Set up Project management unit in MARD

2-2. Select lecturers for training

2-3. Conduct guidance for lecturers

2-4. Conduct training by PMU

3-1. Establish a work plan for conducting F/S and I/P

3-2. Conduct F/S and I/P as OJT

3-3. Prepare F/S and I/P report

3-4. Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD websites, etc.

Handwritten signatures and initials:
A signature on the left, and a signature on the right with the name "Paol" written below it.

4-1. Conduct M&E for improving the training system and the training package

4-2. Hold workshop for improving the training system and the training package

5. Target Area

The following twenty three (23) provinces of five (5) areas were identified as the target provinces for the Project.

Note: In case that the Master Plan should be changed due to the changes of the situations/environment of the Project, both Governments will agree upon and confirm the necessary changes by exchanging Minutes of Meetings.

ANNEX II: LIST OF JAPANESE EXPERTS

The Japanese experts, who are in charge of the following fields, will be employed:

[Long-term assignment]

1. Chief Technical Advisor

[Short-term assignment]

1. Financial economic analysis
2. Marketing
3. Others (if necessary)

Note: The field and number of short-term experts are subject to change according to the Project activity and available budget.

dd
y
dd
Paul

ANNEX III: LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

Part of machinery and equipment necessary for the effective implementation of the Project will be provided by the Japanese side within the budget allocated for technical cooperation. Main items of machinery and equipment to be provided are as follows:

| No | Items | Quantity |
|----|----------------------------|----------|
| 1 | Digital video camera | 3 |
| 2 | Photo-copier | 6 |
| 3 | LCD projector | 6 |
| 4 | Screen | 6 |
| 5 | Fax machine | 24 |
| 6 | Desk phone | 24 |
| 7 | Laser printer | 24 |
| 8 | Personal Computer (laptop) | 25 |
| 9 | GPS | 25 |
| 10 | Motorbike | 2 |
| 11 | Binoculars | 25 |

Note:

- (1) Item and quantity are contingent upon available budget.
- (2) The use of these items is limited to the Project activities.
- (3) Detail contents, specifications and quantity of the above mentioned equipment will be decided through mutual consultations within the budget to be allocated for every Japanese fiscal year.

Handwritten signatures and initials:
 dt
 my
 Jd
 Pash
 ✓

ANNEX IV: LIST OF VIETNAMESE COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Vietnamese Counterpart

- (1) The Project Director is to be a leader of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- (2) The Project Coordinator and other members are to be officers in charge of Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- (3) The officers in charge of DARD, Sub- DoF, FE and Local consultant of target provinces who are nominated as PST.

ANNEX V: LIST OF BUILDINGS AND FACILITIES

The following will be prepared by the Government of Viet Nam for the Project implementation.

- (1) Project Office including basic furniture.
- (2) Electricity, water supply and necessary telecommunication facilities including domestic telephone, facsimile and e-mail services.

Handwritten signatures and initials:
A large stylized signature, possibly "My", is written above a smaller signature that appears to be "Paul". To the left of these signatures are some initials, possibly "ST".

ANNEX VI: JOINT COORDINATING COMMITTEE

1. Function

The Joint Coordinating Committee will meet at least once a year or whenever necessity arises, and will work:

- (1) To monitor the progress of the Project Activities according to the Plan of Operation (PO),
- (2) To review and examine the framework of the Project according to the Project Design Matrix (PDM),
- (3) To discuss and advise on major issues that arise during the Project period, and
- (4) To approve of the Annual Plan of Operation (APO)

2. Member of the Committee

The Committee will be composed of the chairperson, the members and the observers. The chairperson may declare closed sessions against the observers. The rules and regulations for the management of the committee will be determined at the initial stage of the Project.

(1) Chairperson

Leader of the Department of Forestry, Ministry of Agriculture and Rural Development

(2) Vietnamese side.

- Representative, Department of International Cooperation, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Department of Planning, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Department of Finance, Ministry of Agriculture and Rural Development.
- Representative, Ministry of Planning and Investment.
- Representative, Ministry of Finance.

(3) Japanese side

- JICA Team Leader;
- Japanese short-term expert(s);
- Chief representative, JICA Viet Nam Office;
- Personnel to be dispatched by JICA, if necessary.

Note: Official(s) of Embassy of Japan may attend as observer(s). The Chairperson can name new members or request the attendance of other participants, as necessary, upon agreement of the Committee.

Handwritten signatures and initials in the bottom right corner, including a signature that appears to be "Paul".

**MINUTES OF MEETINGS
BETWEEN
JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY
AND
AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF
THE SOCIALIST REPUBLIC OF VIET NAM
ON JAPANESE TECHNICAL COOPERATION PROJECT
FOR
THE AFFORESTATION PLANNING AND IMPLEMENTATION CAPACITY
STRENGTHENING PROJECT**

The Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had a series of discussions with the Ministry of Agriculture and Rural Development (hereinafter referred to as "MARD") of the Government of the Socialist Republic of Vietnam as well as other relevant agencies for the purpose of working out the details of Record of Discussions (R/D) for the Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project (hereinafter referred to as "the Project").

As a result of the discussions, JICA, MARD and other relevant agencies agreed upon the R/D for the Project. The main issues discussed by both sides in relation to the R/D are shown in the document attached hereto.

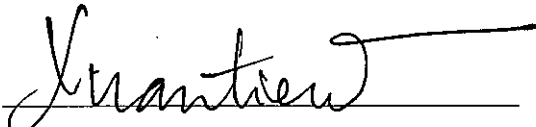
Hanoi, December 7, 2009



Mr. Motonori Tsuno
Chief Representative
Viet Nam Office
Japan International Cooperation Agency



Mr. Nguyen Ngoc Binh
Director General
Department of Forestry
Ministry of Agriculture and Rural Development



Mr. Nguyen Xuan Tien
Deputy Director General
International Economic Relations Department
Ministry of Planning and Investment



Mr. Tran Kim Long
Deputy Director General
International Cooperation Department
Ministry of Agriculture and Rural Development

The Attached Document

This document has been prepared for better understanding of the R/D agreed upon between the Vietnamese side and JICA on the date of signing. The main items that had been discussed and agreed upon by both sides are summarized as follows.

1. The Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO)

The PDM (ver.1) and the PO (ver.1) were prepared as attached in Annex 1 and Annex 2. In principle, the PDM and PO will be used as management tools of the Project. In addition, they can be revised as needed in the course of the Project implementation with mutual consent of both sides.

2. Project Management Structure

A chart of organizational structure was prepared through a series of discussions as Annex 3. It can be revised as needed with mutual consent of the both sides.

3. Counterpart Team

Department of Forestry (DOF), as the focal point of the Project, has the responsibility to invite representatives from relevant organizations within the Ministry of Agriculture and Rural Development (MARD) and others, to organize meetings to discuss issues related to the Project, and to share information for better implementation of the Project among the relevant agencies when necessity arises. The Project Management Unit (PMU), which consists of DOF staff members, is responsible for managing the Project in cooperation with the Japanese Expert Team.

4. Provincial Study Team (PST)

PST members will be selected from among government staff in target provinces who is directly conducting the preparation of Feasibility Studies and Implementation Plans. The project gives preference to staff in charge of other JICA projects in forestry sector in order to bring about a greater synergy among JICA projects.

5. Target areas of the Project

Target areas of the Project are twenty three (23) provinces of five (5) areas as shown in Annex 4.

6. Training for Counterparts in Japan

Training for counterparts in Japan will be organised as one of the activities within the Project. Total of twenty three (23) counterpart staff members with one from each Provincial Study Team (PST) are candidates for the counterpart study tour in Japan. The time and period of the study tour will be decided later on by the JICA Expert Team in consultation with the Vietnamese side.

7. Local Contracts

The Project may hire or contract with local consultants or other relevant organizations to assist the Project in carrying out its activities. The Vietnamese and Japanese sides will prepare the terms of references (TOR) for recruiting the consultants. The contract(s) will be in accordance with rules and regulations of JICA, in consultation with the Vietnamese side.

8. Budgetary Contribution

JICA will inform the Vietnamese side the total estimated fund of the project which JICA plans to bear after signing of the R/D.

The MARD will consider its contribution and report to the first Joint Coordinating Committee meeting.

List of Annexes

Annex 1: Project Design Matrix (PDM)

Annex 2: Plan of Operation (PO)

Annex 3: Project Management Structure

Annex 4: Target areas of the Project

Handwritten signature and initials:
 28/10/18
 Pak

Annex 1: Project Design Matrix (PDM)

Project Design Matrix

Ver.1

Project Name : Afforestation Planning and Implementation Capacity Strengthening Project

Target Areas : Northwest area: 4 provinces

Northeast area: 4 provinces

North area of Central coast: 6 provinces


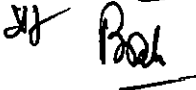
South area of Central coast: 6 provinces

Central Highlands: 3 provinces

Duration : 2010 - 2012

Target Beneficiaries : Persons designated as PST member among persons who are directly related for conducting F/S and IP in target Provinces

| Project Summary | Indicators | Means of Verification | Critical Assumptions |
|--|---|---|--|
| <p>Overall Goal The area of afforestation projects in target provinces is expanded.</p> | <p>The area of afforestation projects (After 5 years of finishing the project, The area of afforestation projects is increased by 20 % compared with before the project commencement.)</p> | <p>Statistical data of target provinces</p> | <p>- Vietnamese government continues to hold active policy for promoting afforestation.</p> |
| <p>Objective Capacity of key forestry staff for establishing afforestation plans in target Provinces is strengthened.</p> | <p>Performance of assignment of training (Assignment obliged to submit in OJT achieve more than 60% of fullmark)</p> | <p>- Implementation Report of Training</p> | <p>- Target provinces/MARD allocate budget for preparing Afforestation plan. - Private sector provides fund for conducting afforestation plans prepared by Target provinces.</p> |
| <p>Outputs 1. Preparation work for the training is completed. 2. Training for PST on elaborating afforestation plan is conducted. 3. F/S and I/P reports are prepared by PST and disclosed to the public. 4. The training system and training package are improved.</p> | <p>1. Preparation Work (At the starting period of the project, a PST is established in each target province, and training plans are prepared.) 2. Participation of PST to training (More than 80 % PST participate to training.) 3. Elaboration and publication of F/S and I/P reports (At termination of the</p> | <p>- Implementation Report of Training - Improved version of the Training Package</p> | <p>- PST members are not changed.- The Government of Vietnam authorizes the improved Training Package.</p> |

Handwritten signatures and initials:



| | | | |
|---|--|--|--|
| | <p>project, all target provinces prepare F/S and I/P, and publish on MARD and DARD websites, etc.)</p> <p>4. Improved training system and training package. (At termination of the project, Improved training plan and, F/S and I/P manual are prepared)</p> | | |
| <p>Activities</p> <p>1-1. Prepare a criteria for selecting PST members 1-2. Select PST members 1-3. Prepare training plans based on the situations in each area 1-4. Conduct guidance of training program, F/S and I/P. 2-1. Set up Project management unit in MARD. 2-2. Select lecturers for training. 2-3. Conduct guidance for lecturers 2-4. Conduct training by PMU. 3-1. Establish a work plan for conducting F/S and I/P 3-2. Conduct F/S and I/P as on the job training (OJT)</p> <p>3-3. Prepare F/S and I/P report 3-4. Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD web sites, etc. 4-1. Conduct monitoring and evaluation (M&E) for improving the training system and the training package. 4-2. Hold workshop for improving the training system and the training package.</p> | <p>Inputs</p> <p><u>Japanese side:</u> Japanese experts Machinery and equipment Necessary expenses for training</p> <p><u>Vietnamese side:</u> Counterparts Project office including electricity, water supply and telecommunication facilities, etc. Relevant data and documents</p> | | <p>- Target Provinces put high priority to participation of PST for training.</p> <p>Pre-conditions</p> <p>Forest policies and legislations in Vietnam are not changed significantly.</p> |

Note: PST is Provincial Study Team, F/S is Feasibility Study, I/P is Implementation Plan, DARD is Department of Agriculture and Rural Development, Sub-DoF is Sub department of Forestry and FE is Forest Enterprise.

Handwritten signatures and initials, including a large signature and the name "Paul" written below it.

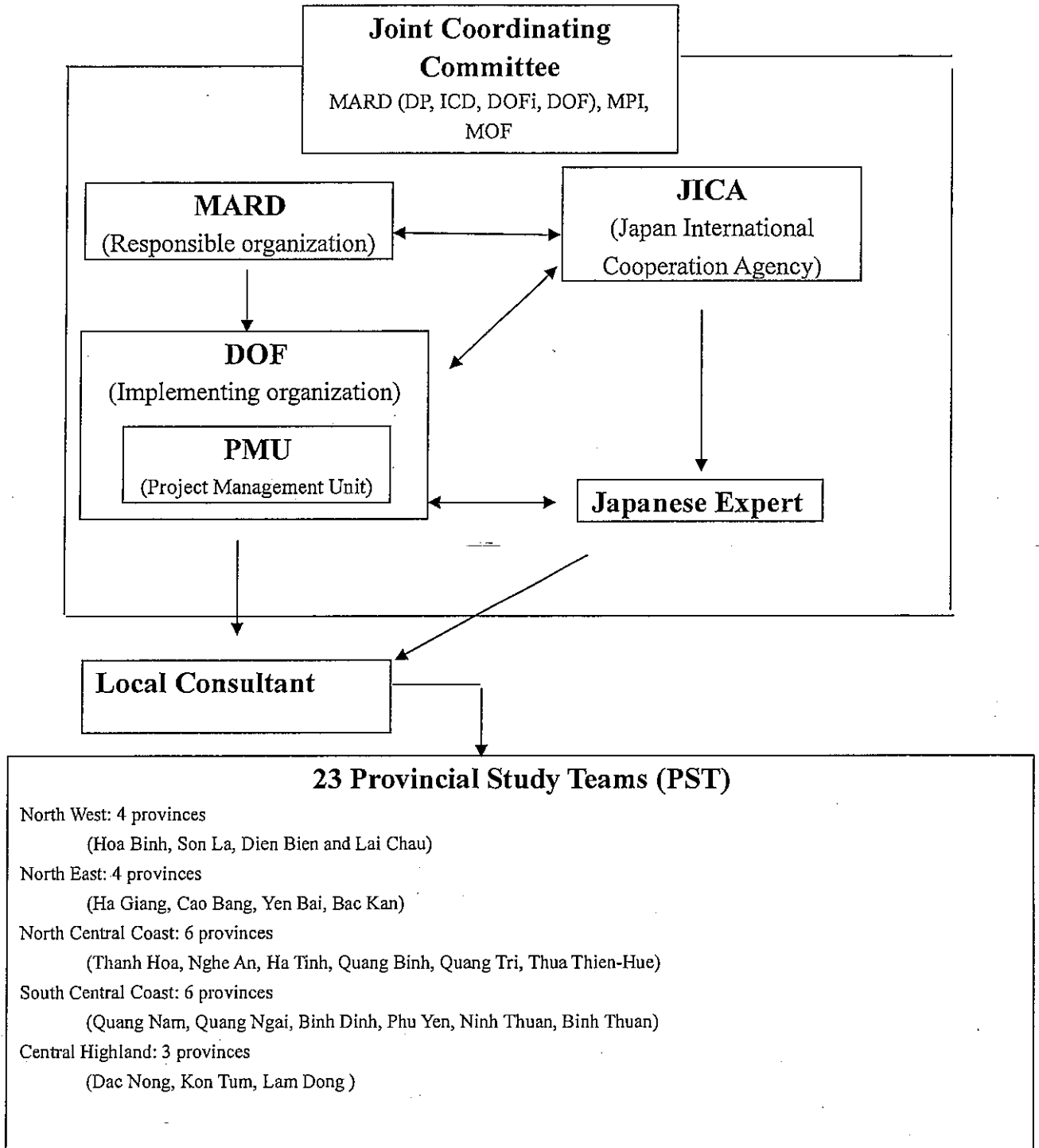
Annex 2: Plan of Operation (PO) Ver.1

| Output | Activities | Year1 | Year2 | Year3 |
|---|--|-------|-------|-------|
| 1 Preparation for the training work is completed. | 1-1 Prepare a criteria for selecting PST members | ○ | | |
| | 1-2 Select PST members | ○ | | |
| | 1-3 Conduct guidance of training program, F/S and I/P | ○ | | |
| | 1-4 Prepare training plans based on the situations in each area | ○ | | |
| 2 Training for PST on elaborating afforestation plan is conducted. | 2-1 Set up Project management unit in MARD | ○ | | |
| | 2-2 Select lecturers for training | ○ | | |
| | 2-3 Conduct guidance for lecturers | ○ | | |
| | 2-4 Conduct training by PMU | ○ | ↔ | ↔ |
| 3 F/S and I/P reports are prepared by PST and disclosed to the public. | 3-1 Establish a work plan for conducting F/S and I/P | ○ | | |
| | 3-2 Conduct F/S and I/P as OJT | | ↔ | |
| | 3-3 Prepare F/S and I/P report | | ○ | |
| | 3-4 Release F/S and I/P reports in to the MARD and DARD websites, etc. | | | ○ |
| 4 The training and system training package are improved. | 4-1 Conduct M&E for improving the training system and the training package | | ↔ | |
| | 4-2 Hold workshop for improving the training system and the training package | | | ○ |

Handwritten signatures and initials

Annex 3: Project Management Structure

Structural Organization Chart of the Project



[Handwritten signatures and initials]

Annex 4: Target Areas of the Project

- North West: 4 provinces
(Hoa Binh, Son La, Dien Bien and Lai Chau)
- North East: 4 provinces
(Ha Giang, Cao Bang, Yen Bai, Bac Kan)
- North Central Coast: 6 provinces
(Thanh Hoa, Nghe An, Ha Tinh, Quang Binh, Quang Tri, Thua Thien-Hue)
- South Central Coast: 6 provinces
(Quang Nam, Quang Ngai, Binh Dinh, Phu Yen, Ninh Thuan, Binh Thuan)
- Central Highlands: 3 provinces
(Dac Nong, Kon Tum, Lam Dong)

Handwritten signatures and initials, including a large signature and the name "Paul" written below it.